Canon

キヤノン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90005

受付時間：平日 9:00〜20:00
土・日・祝日 10:00〜17:00
(1月1日〜1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノンデジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

Li-ion

CDI-J320-XXX XXXXXXX PRINTED IN JAPAN

Canon キヤノンデジタルカメラ IXY DIGITAL 910 IS カメラユーザーガイド

Canon

CDI-J320

IXY DIGITAL 910 IS カメラユーザーガイド

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください（p.186〜195）。

DIGIC III CANON iMAGE GATEWAY

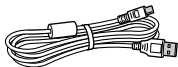
操作の流れと参照するガイド

以下のガイドが用意されています。必要に応じてお読みください。

付属品の確認

パッケージには以下のものが入っています。万一、不足のものがありましたら、お手数ですがお買い求めの販売店までご連絡ください。

❶ カメラ本体

❷ バッテリーパック NB-5L（端子カバー付き）

❸ バッテリーチャージャー CB-2LX

❹ メモリーカード（32MB）

❺ インターフェースケーブル IFC-400PCU

❻ AV ケーブル AVC-DC300

❼ リストストラップ WS-DC2

❽ Canon Digital Camera Solution Disk

❾ 取扱説明書一式
- ・カメラユーザーガイド
- ・ダイレクトプリントユーザーガイド
- ・ソフトウェアクイックガイド
- ・サポートガイド
- ・キヤノン純正アクセサリーご使用のお願い

❿ 保証書

付属のカードでは、このカメラの性能を十分に発揮できない場合があります。

このカメラでは、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、マルチメディアカード、MMCplus カードと HC MMC plus カードをお使いになれます。このガイドでは、これらをカードと表記します。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

撮影時によく使う機能 64

いろいろな撮影 78

本文中のマークについて

本書では、お買い上げ時の設定状態で説明しています。

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

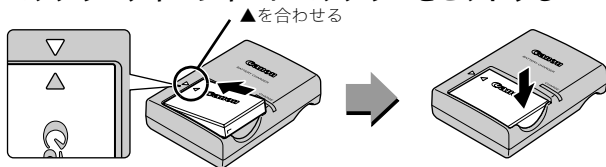
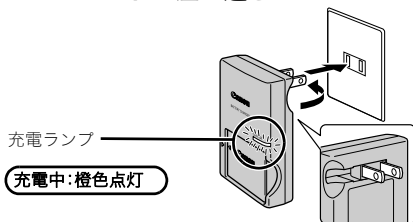
液晶モニターについて

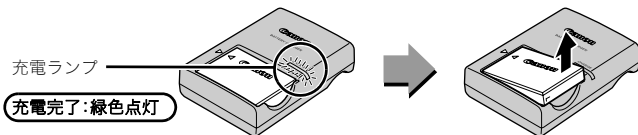
液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

さっそく
カメラを使ってみよう！

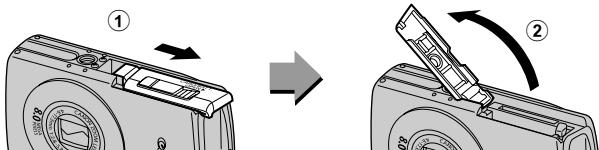
準備する

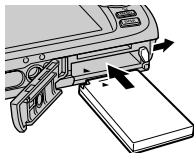
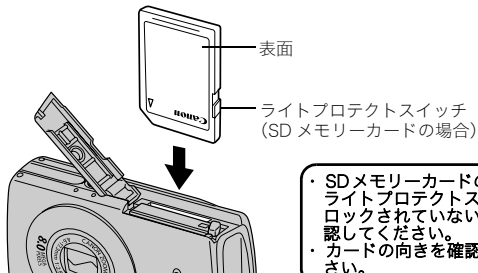
バッテリーを充電する

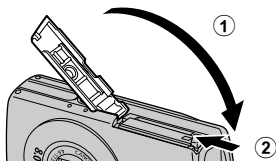
1. バッテリーチャージャーにバッテリーをセットする

2. コンセントに差し込む

3. 充電が完了したら、バッテリーを取り外す

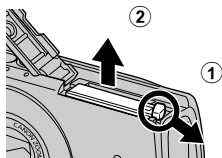
約 2 時間 5 分で充電が終わります。

バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。

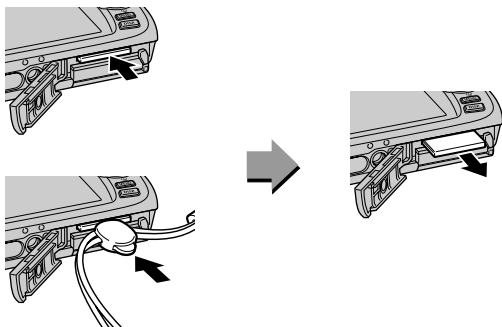
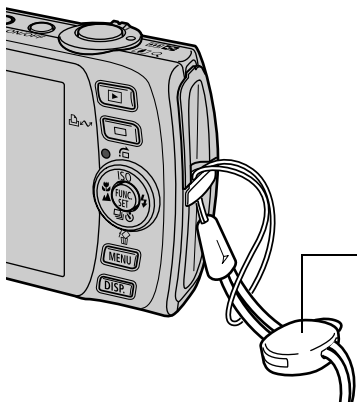
バッテリーとカードを入れる

1. カバーをスライドして開く(①、②)

2. バッテリーを入れる

「カチッ」と音がしてロックされます。

3. カードを「カチッ」と音がするまで差し込む

カードは、必ず正しい向きでカメラに入れてください。誤って逆に入れた場合、カメラがカードを認識しなかったり、カメラの故障の原因となることがあります。

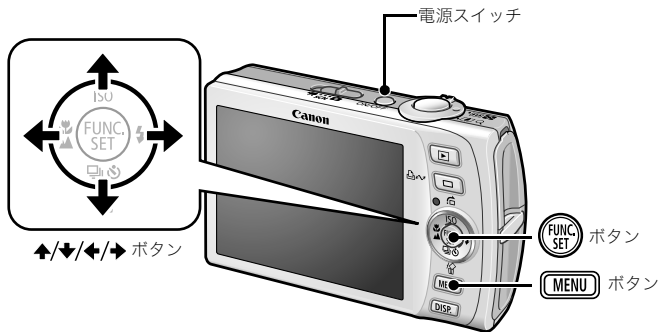
4. カバーを閉じる(①、②)

■ バッテリーを取り出すには

バッテリーロックを矢印の方向(①)に押しながら取り出します(②)。

■ カードを取り出すには

指またはリストストラップの止め具を使い、「カチッ」と音がするまでカードを奥に押し込んでから、放します。

リストストラップの取り付けかた

止め具
端子カバーを開けるときやカードの出し入れをするときに使います。止め具の位置は変えることができます。

カメラをお使いになるときは、落下防止のため、リストストラップの装着をおすすめします。

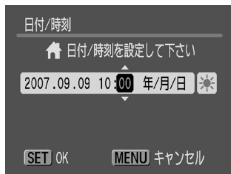
日付と時刻を設定する

はじめて電源を入れたときは、日付/時刻の設定画面が表示されますので、手順3と手順4を行ってください。

1. 電源スイッチを押す

2. [日付 / 時刻]を選ぶ

1. (MENU) ボタンを押す
2. ←/→ ボタンで[(設定)]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ ボタンで[日付 / 時刻]を選ぶ
4. (FUNC. SET) ボタンを押す

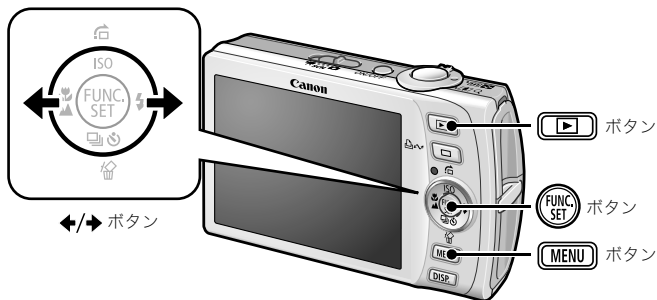
3. 年、月、日、時、分、表示順を選ぶ

1. ←/→ ボタンで項目を選ぶ
2. ↑/↓ ボタンで内容を設定する

4. (FUNC. SET) ボタンを押す

5. (MENU) ボタンを押す

- カメラには、日付 / 時刻などの設定を保持するためのリチウム充電池が内蔵されています。充電されたバッテリーをカメラに入れておくか、別売の AC アダプターキット ACK-DC30 を使用すると、4 時間程度で充電されます。なお、カメラの電源が入っていなくても充電できます。
- バッテリーを取り出してから約 3 週間経過すると、設定した日付/時刻が解除される場合があります。再度、設定し直してください。
- 設定した日付や時刻を画像に写し込むことができます（p.75）。

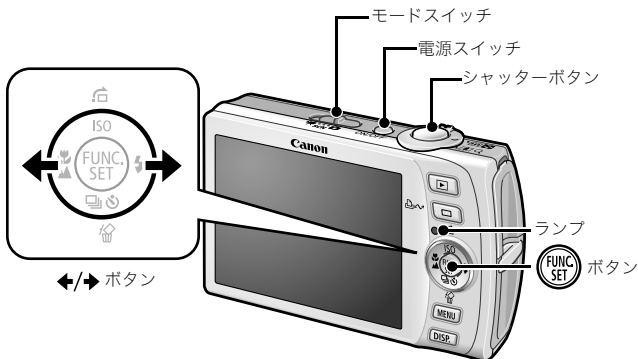
表示言語を切り換える

ご購入時は日本語に設定されていますので、変更の必要はありません。

1. ▶ ボタンを押す

2. FUNC./SET ボタンを押したまま、すぐに MENU ボタンを押す

3. ←/→ ボタンで表示したい言語を選ぶ

4. FUNC./SET ボタンを押す

静止画を撮る（オートモード）

1. 電源スイッチを押す

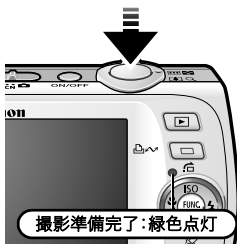
・起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます。
・もう一度電源スイッチを押すと、電源が切れます。

2. 撮影モードを選ぶ

1. モードスイッチを（撮影）に合わせる
2. ボタンを押す
3. ボタンで（オート）を選ぶ
4. ボタンを押す

3. 被写体にカメラを向ける

4. シャッターボタンを浅く押して(半押し)、ピントを合わせる

・ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ランプが緑色に点灯します(ストロボ発光時は橙色に点灯)。

・ピントが合った位置に、AF フレームが緑色で表示されます。

AFフレーム

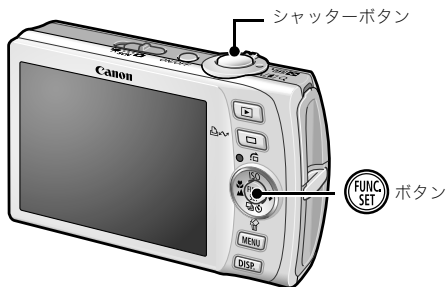
5. そのまま、シャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影する

・シャッター音が鳴り、撮影されます。
・ランプが緑色に点滅し、カードに記録されます。

消音の設定について

MENUボタンを押しながら電源を入れると、消音設定が[入]になり、警告音以外のすべての音が鳴らない設定になります。設定の変更は、[(設定)]メニューの[消音]で行います。

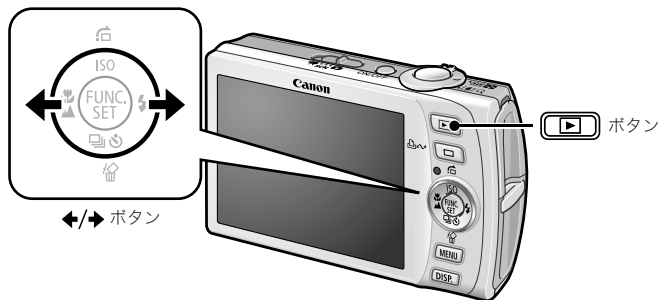
撮影直後に画像を確認する（レックレビュー）

撮影直後に約 2 秒間、液晶モニターに撮影した画像が表示されます。

次の方法で、画像を表示し続けることもできます。

- **撮影後、シャッターボタンを押し続ける**
- **撮影した画像が表示されている間に、FUNC. SET ボタンを押す**

画像の表示中でも、シャッターボタンを押すと撮影ができます。

[(撮影)]メニューの[撮影の確認]で画像を表示する時間を変更できます。

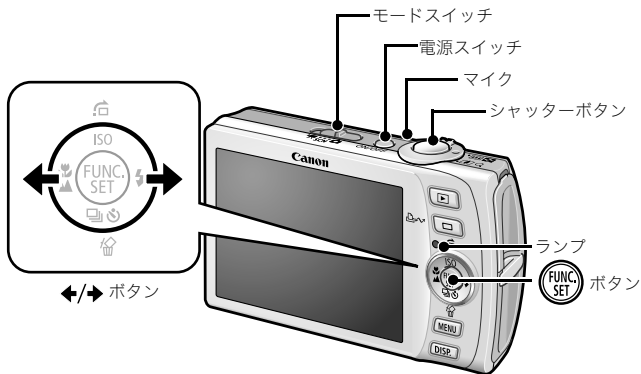
静止画を見る

1. ▶ ボタンを押す

最後に撮影した画像が表示されます。

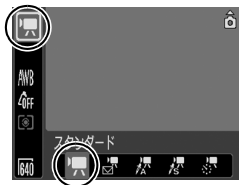
2. ◆/◆ ボタンで見たい画像を表示する

- ◆ボタンで前の画像、◆ボタンで次の画像を表示します。
- ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。

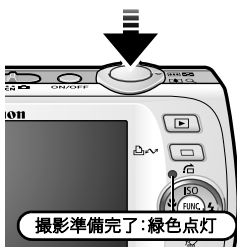
一度再生した場合には、最後に再生した画像が表示されます(再生レジューム)。カードを交換したり、パソコンでカード内の画像を編集した場合には、最新画像が表示されます。

動画を撮る（スタンダードモード）

1. 電源スイッチを押す

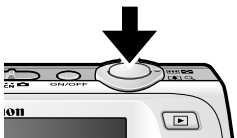
2. 撮影モードを選ぶ

1. モードスイッチを（動画）に合わせる
2. FUNC. SET ボタンを押す
3. ←/→ボタンで（スタンダード）を選ぶ
4. FUNC. SET ボタンを押す

3. 被写体にカメラを向ける

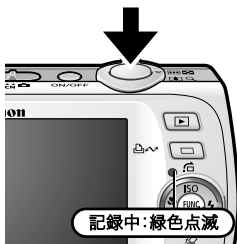
4. シャッターボタンを浅く押して(半押し)、ピントを合わせる

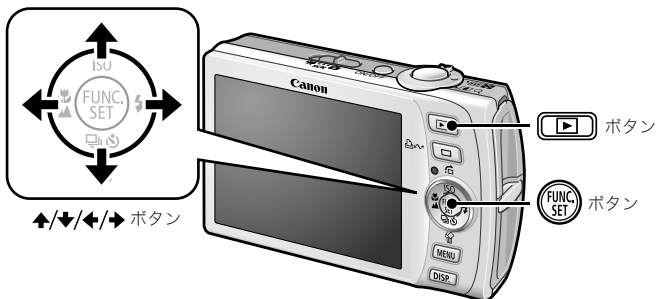
- ピントが合うと電子音が「ピピッ」と2回鳴り、ランプが緑色に点灯します。
- 露出、フォーカス、ホワイトバランスが自動設定されます。

5. そのまま、シャッターボタンを深く押して(全押し)、撮影する

- 撮影が開始されます。

- 撮影中は、液晶モニターに撮影時間と[●録画]が表示されます。

撮影時間

6. シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- ランプが緑色に点滅し、カードに記録されます。
- 最長記録時間を経過したときや、カメラ内部のメモリーやカード容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

- 撮影中はマイクに触れないでください。
- シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。

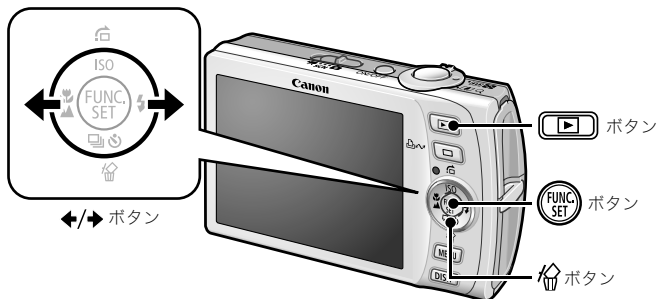
動画を見る

1. ボタンを押す

2. ◀/▶ボタンで動画を表示し、ボタンを押す

動画には SET が表示されます。

3. ◀/▶ボタンで▶（再生）を選び、ボタンを押す

- 動画が再生されます。
- 再生中にFUNC./SETボタンを押すと、再生の一時停止 / 再開ができます。
- ▲/▼ボタンで音量の調節ができます。

消去する

1. ボタンを押す

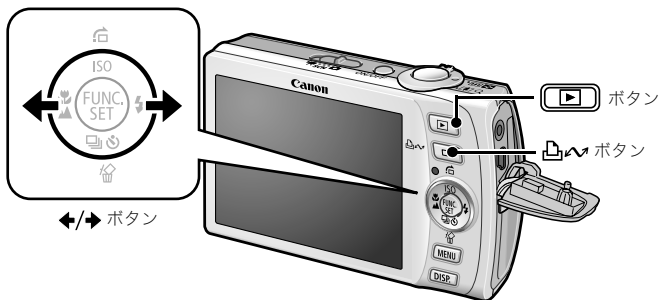
2. ←/→ボタンで消去したい画像を選び、ボタンを押す

3. ←/→ボタンで[消去]を選び、ボタンを押す

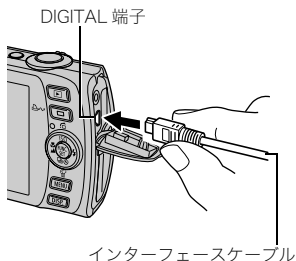
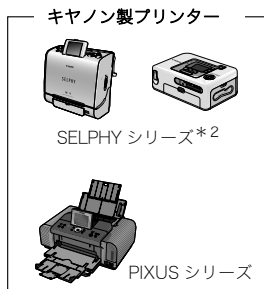
消去を中止するときは、[キャンセル]を選びます。

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

さっそくカメラを使ってみよう!

印刷する

1. カメラとカメラダイレクト対応プリンター*1 を接続する

・カメラの端子カバーは、爪やリストストラップの止め具を上端にかけて開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

・プリンターの接続方法は、プリンターに付属の使用説明書でご確認ください。

*1 このカメラは標準規格「PictBridge(ピクトブリッジ)」に対応していますので、キヤノン製プリンターだけでなく、キヤノン製以外のPictBridge対応プリンターでも印刷できます。

*2 CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。

2. プリンターの電源を入れる

3. カメラの ▶ ボタンを押し、電源を入れる

- ボタンが青色に点灯します。
- 正しく接続されると、液晶モニターにまたは、が表示されます(プリンターによって表示されるアイコンは異なります)。
- 動画の場合、SET が表示されます。

4. ←/→ボタンで印刷したい画像を選び、ボタンを押す

ボタンが青く点滅し、印刷が始まります。

印刷後は、カメラとプリンターの電源を切り、インターフェースケーブルを取り外します。

パソコンに取り込む

用意するもの

- カメラとパソコン
- カメラに付属の「Canon Digital Camera Solution Disk」
- インターフェースケーブル(必ずカメラに付属のケーブルをお使いください。)

パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンにインストールしてください。

Windows

OS	Windows Vista Windows XP Service Pack 2 Windows 2000 Service Pack 4
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること
CPU	Windows Vista :Pentium 1.3GHz以上 Windows Windows XP / 2000 :Pentium 500MHz以上
RAM	Windows Vista :512MB以上 Windows Windows XP / 2000 :256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ZoomBrowser EX :200MB以上 ・PhotoStitch : 40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver : 25MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット High Color(16bit)以上

Macintosh

OS	Mac OS X(v10.3~v10.4)
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5またはIntel プロセッサー
RAM	256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ・ImageBrowser :300MB以上 ・PhotoStitch : 50MB以上
ディスプレイ	1,024×768ドット 32,000色 以上

画像を取り込む準備をする

必ずソフトウェアをインストールしてから、カメラとパソコンを接続してください。

1. ソフトウェアをインストールする

■Windows

1. Canon Digital Camera Solution Disk を CD-ROM ドライブにセットする
2. [おまかせインストール]をクリックする

   表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めます。

3. インストールの終了後、[再起動]または[完了]をクリックする

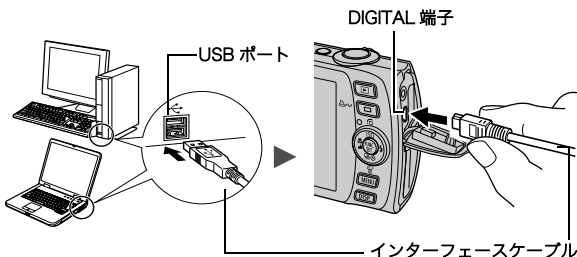
   インストールが終了すると、[再起動]または[完了]が表示されます。表示されたボタンをクリックします。

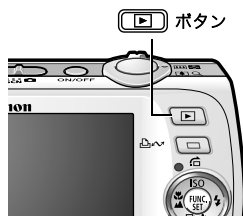
4. 通常のデスクトップの画面が表示されたら、CD-ROM を取り出す

■Macintosh

CD-ROM 内の をダブルクリックすると、右の画面が表示されます。[インストール]を選択し、表示されるメッセージにしたがって、インストールを進めます。

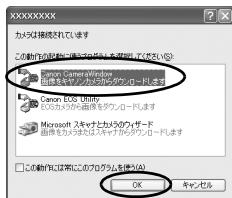
2. カメラとパソコンを接続する

1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する
   - カメラの端子カバーは、爪やリストストラップの止め具を上端にかけて開き、インターフェースケーブルを奥まで差し込みます。

3. カメラとパソコンを通信できる状態にする

1. (▶) ボタンを押し、電源を入れる

カメラの DIGITAL 端子からインターフェースケーブルを取り外すときは、必ず、コネクターの側面を持って取り外してください。

[デジタル署名が見つかりませんでした]と表示された場合は、[はい]をクリックしてください。接続が完了し、カメラとパソコンが通信できる状態になると、USBドライバが自動的にパソコン内にインストールされます。

■Windows

[Canon CameraWindow]を選び、[OK]をクリックする

上記のウィンドウが表示されない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]または[プログラム]▶[Canon Utilities]▶[CameraWindow]▶[CameraWindow]▶[CameraWindow]を選択します。

カメラウィンドウが表示されます。

これで、画像を取り込む準備ができました。
「カメラの操作で画像を取り込む(p.29)」にお進みください(Windows 2000 を除く)。

Windows 2000 をお使いの場合は、パソコンの操作で画像を取り込みます。取り込み方法については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

■Macintosh

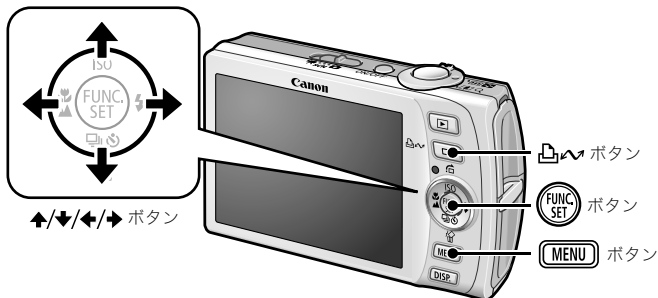
カメラとパソコンが通信できる状態になると、カメラウィンドウが表示されます。表示されない場合は、Dock(デスクトップ下部に表示されるバー)の[CameraWindow]アイコンをクリックします。

これで、画像を取り込む準備ができました。
「カメラの操作で画像を取り込む(p.29)」にお進みください。

パソコンの操作での取り込み方法については、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

カメラの操作で画像を取り込む（ダイレクト転送）

初めてダイレクト転送で画像を取り込むときは、最初にソフトウェアをインストールしておいてください(p.25)。

カメラの操作で画像を取り込めます(Windows 2000 を除く)。

アイコン	項目	説明
	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定した画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながら、パソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

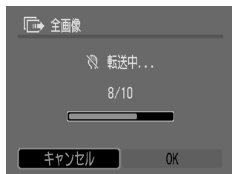
1. カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

- ボタンが青色に点灯します。
- ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENUボタンを押してください。

ダイレクト転送画面

■[全画像]、[未転送画像]、[送信指定画像] のとき

2. ▲/▼ボタンで、、のいずれかを選び、ボタンを押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
- 取り込みが終了するとダイレクト転送画面に戻ります。
- 取り込みを中止するときは、FUNC./SET ボタンを押します。

■ [画像を選んで転送]、[パソコンの背景] のとき

2. ▲/▼ボタンでまたはを選び、ボタン(またはボタン)を押す

3. ◀/▶ボタンで取り込みたい画像を選び、ボタンを押す

- 画像が取り込まれます。取り込み中は、ボタンが青色に点滅します。
- 取り込みを中止するときは、FUNC./SET ボタンを押してキャンセルします。

4. 取り込み後、MENU ボタンを押す

ダイレクト転送画面に戻ります。

[パソコンの背景]で指定できるのは、JPEG 画像のみです。

ボタンで選択した項目は、カメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。[画像を選んで転送]と[パソコンの背景]を選択していたときは、ただちに画像を選択する画面が表示されます。

カメラウィンドウの右下に表示される[×]をクリックすると、パソコンの画面に取り込まれた画像が表示されます。

■Windows

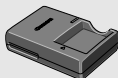
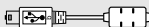
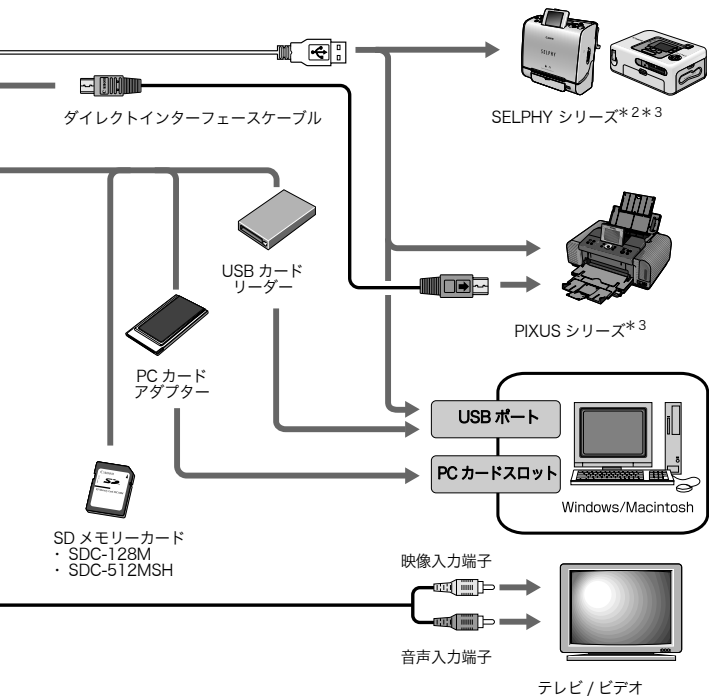
ZoomBrowser EX

■ Macintosh

ImageBrowser

初期設定では、パソコンに取り込まれた画像は、撮影日ごとにフォルダに保存されます。

システムマップ

付属品
インターフェースケーブル IFC-400PCU＊1
リストストラップ
WS-DC2
バッテリーパック NB-5L＊1
（端子カバー付き）
バッテリーチャージャー
CB-2LX＊1
メモリーカード（32MB）
AV ケーブル
AVC-DC300＊1
Canon Digital Camera
Solution Disk
AC アダプターキット ACK-DC30
DC カプラー
DR-30
電源コード
コンパクトパワーアダプター
CA-DC10
ウォータープルーフケース
WP-DC17
ソフトケース
IXC-310 シリーズ
IXC-320 シリーズ
IXC-700 シリーズ
ハイパワーフラッシュ
HF-DC1

＊1 別売りも用意されています。
＊2 PIXUSシリーズ/SELPHY DSシリーズのプリンターに接続するケーブルや、プリンターに関することは、プリンターに付属の使用説明書をご覧ください。
＊3 CP-10/CP-100/CP-200/CP-300 もお使いになれます。

アクセサリー（別売）

必要に応じてお買い求めのうえ、ご利用ください。
（アクセサリーは、諸事情により販売を終了することがあります。）

■ ストロボ

- **ハイパワーフラッシュHF-DC1**
  被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに、カメラに取り付けて使用する補助ストロボです。

■ 電源

- **AC アダプターキット ACK-DC30**
  家庭用コンセントから電源を供給するためのキットです。カメラを長時間連続して使うときや、パソコンと接続するときには、この AC アダプターキットをお使いになることをおすすめします。
- **バッテリーチャージャーCB-2LX**
  バッテリーパック NB-5L 用の充電器です。
- **バッテリーパック NB-5L**
  充電式のリチウムイオン電池です。

■ その他

- **SD メモリーカード**
  撮影した画像を記録するためのメモリーカードです。キヤノン製では 128MB、512MB の容量のカードがあります。
- **インターフェースケーブル IFC-400PCU**
  カメラとパソコン、またはカメラと SELPHY シリーズや PIXUS シリーズ*のプリンターを接続するケーブルです。
  ＊プリンターの使用説明書でご確認ください。
- **AV ケーブル AVC-DC300**
  カメラとテレビやビデオを接続するケーブルです。

- ウォータープルーフケース WP-DC17
  カメラに、このウォータープルーフケースを装着すると、雨天時や海辺、スキー場での撮影のほか、水深 40m 以内での水中撮影を楽しむことができます。
- ソフトケースIXC-310 シリーズ
  IXC-320 シリーズ
  IXC-700 シリーズ
  カメラをキズやホコリから守ります。

カメラダイレクト対応プリンター

以下のプリンターが用意されています。カメラとプリンターをケーブルで直接つないで、カメラのボタン操作だけで撮影した画像を印刷できます。

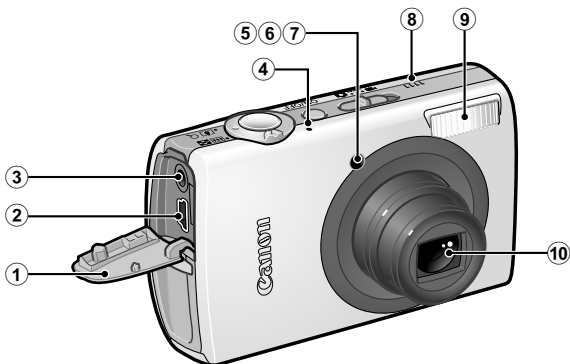
- SELPHY シリーズ
- PIXUS シリーズ

商品の詳細やお使いになれるアクセサリーについては、カメラユーザーガイド裏表紙に記載されているホームページや商品カタログでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。

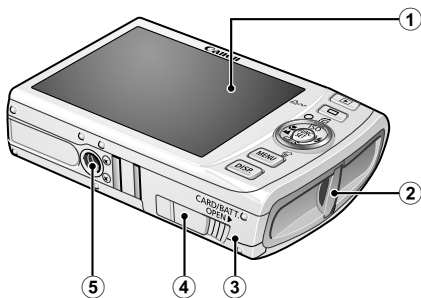
アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

もっと
カメラを使ってみよう！

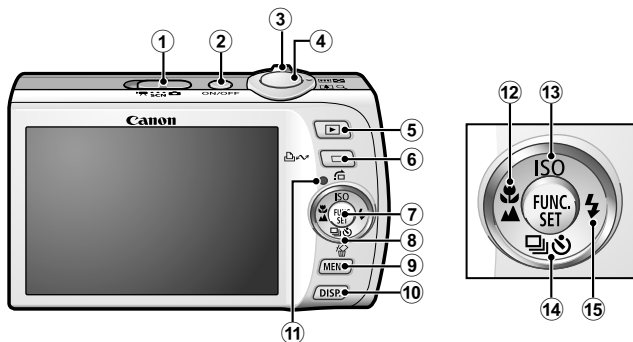
各部の名称

■ 前面

① 端子カバー
② DIGITAL（デジタル）端子（p.22、p.26）
③ A/V OUT（映像 / 音声出力）端子（p.168）
④ マイク
⑤ AF 補助光投光部（p.49）
⑥ 赤目緩和ランプ（p.82）
⑦ セルフタイマーランプ（p.70）
⑧ スピーカー
⑨ ストロボ（p.68）
⑩ レンズ

爪やリストストラップの止め具を上端にかけて開きます。

■ 背面

① 液晶モニター(p.53、p.54)
② リストストラップ取り付け部
③ メモリーカードスロット / バッテリーカバー(p.9)
④ DC カプラー端子カバー(p.196)
⑤ 三脚ねじ穴

インターフェースケーブルと AV ケーブルは、同時に接続できません。

■ 操作部

① モードスイッチ（p.14、p.44）
② 電源スイッチ（p.14）
③ ズームレバー（p.64、p.121）
撮影時：▯▯▯（広角）/▯（望遠）
再生時：▯（インデックス）/ 🔍（拡大）
④ シャッターボタン（p.14）
⑤ ▶（再生）ボタン（p.43、p.158）
⑥ ▯（イージーダイレクト）ボタン（p.113）
⑦ FUNC./SET（ファンクション / セット）ボタン（p.47）
⑧ タッチホイール（p.41）
⑨ MENU（メニュー）ボタン（p.48）
⑩ DISP.（ディスプレイ）ボタン（p.53）
⑪ ランプ（p.45）
⑫ ▯（マクロ）/▲（遠景）/ ◆ ボタン（p.69）
⑬ ISO（ISO 感度）/▯（ジャンプ）/ ▲ ボタン（p.97、p.125）
⑭ ▯（連写）/▯（セルフタイマー）/▯（1 画像消去）/ ▼ ボタン（p.21、p.70、p.81）
⑮ ϟ（ストロボ）/ ▶ ボタン（p.68）

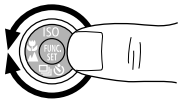
タッチホイールの使いかた

指をのせる

タッチホイールに指をのせると、液晶モニターにタッチホイールの拡大図が表示され、選択中の項目のアイコンが大きく表示されます。そのまま押すと、その項目の設定ができます。

撮影時の画面例

指で回す

タッチホイール上で指を回すと、撮影モードの選択や、項目、画像の選択などができます。
反時計回りで ◆ ボタン、時計回りで ◆ ボタンと同じ働きをします(機能によっては ◆/◆ ボタンの働きをする場合もあります)。

撮影モード選択時の画面例

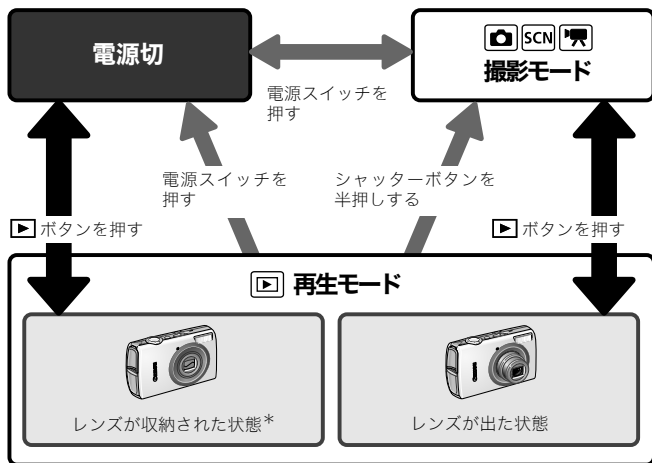
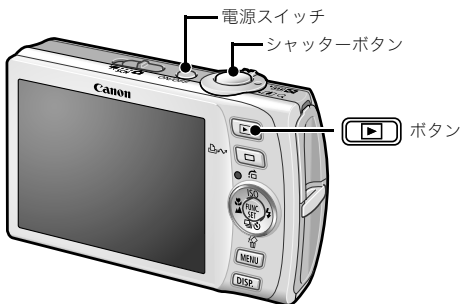
画像選択時の画面例

- 設定できない機能はグレー表示になります。
- ホイール表示の入 / 切は、[ ]メニューで変更できます(p.51)。
- ホイール表示が[切]のときは、指をのせた機能のアイコンが緑になります。

タッチホイールを回して操作できる機能は、次のとおりです。ただし、機能によっては、操作できない項目があります。

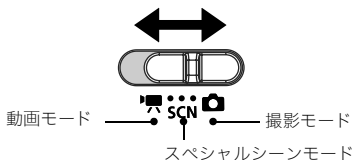
	操作できる機能	参照先
撮影時	撮影モードの選択	p.44
	⚡/🌷/▲/❏/⏱/ISO での項目選択	p.68、p.69、p.70、p.81、p.97
	FUNC. メニューでの設定内容の選択	p.47
	露出の変更(動画)	p.86
再生時	画像選択	p.17、p.20、p.126、p.150、p.154
	動画再生、編集時の各種操作	p.129、p.131
	音声メモ、サウンドレコーダーの操作	p.147、p.149
	DPOF の印刷指定、送信指定の操作	p.159、p.166
撮影時と再生時	メニューでの項目選択	p.48
	世界時計のエリア選択	p.60
	時計表示の表示色変更	p.46
	マイカメラコンテンツの項目選択	p.169

▶ボタンの使いかた

▶ボタンで電源の入 / 切や撮影 / 再生モードの切り換えができます。また、▶ボタンに、スライドショーやサウンドレコーダーの機能を登録できます(p.158)。

・ ▶ ボタンに機能を登録すると、上記の動きとは異なる場合があります。

*[ ]メニューの[レンズ収納時間]で時間を変更できます(p.52)。

モードスイッチの使いかた

モードスイッチをスライドして、使用したいモードに合わせます。

モード		
撮影モード		
	:オート(p.14)	:マニュアル(p.80)
	:デジタルマクロ(p.68)	:ワンポイントカラー(p.107)
	:スイッチカラー(p.109)	:スティッチアシスト(p.88)
SCN	スペシャルシーンモード (p.78)	
	:ポートレート	:ナイトスナップ
	:キッズ & ペット	:パーティー/ 室内
	:新緑 / 紅葉	:スノー
	:ビーチ	:打上げ花火
	:水族館	:水中
動画モード (p.84)		
	:スタンダード	:ライト
	:ワンポイントカラー	:スイッチカラー
	:インターバル	

ランプの点灯 / 点滅について

以下の場合に、カメラ背面のランプが点灯、点滅します。

緑点灯：撮影準備完了（電子音が 2 回鳴ります）* / パソコン接続時 / ディスプレイオフ時
緑点滅：カメラの起動中 / インターバル（動画）撮影中 / 画像の記録 / 読み出し / 消去 / 転送（パソコン / プリンター接続時）
橙点灯：撮影準備完了（ストロボ発光）
橙点滅：撮影準備完了（手ぶれ警告）
＊ピントが合いにくいときは、電子音が1 回鳴ります。

ランプが緑色に点滅しているときは、絶対に次のことを行わないでください。画像データが壊れることがあります。
- 振動や衝撃を与える
- 電源を切ったり、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開ける

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約 3 分間、何も操作しないとき。節電機能が[切]でも、液晶モニターを表示して約 1 分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます。（電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えると復帰します。）
再生時 プリンター接続時	約 5 分間、カメラの操作を何もしないとき

＊時間を変更できます。

- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p.51）。

時計を表示する

現在の日付と時刻を5秒間*表示する方法が、2 通りあります。
*初期設定

① FUNC./SET ボタンを押しながら、電源を入れる

② 撮影 / 再生モード時に FUNC./SET ボタンを 1 秒以上押す

カメラを横にすると時計を表示し、縦にすると時計 / 日付を表示します。なお、カメラを縦にして ① の方法で時計を表示した場合、初めは、カメラを横にしたときと同じように表示されます。

・時計の表示中に ←/→ ボタンを押すと、表示色を変更できます。
・時計の表示時間が経過するか、次の操作のためにボタン操作をすると時計表示が終了します。
・時計の表示時間は、[ ]メニューで変更できます(p.52)。
・拡大表示時、インデックス再生時は、時計は表示できません。

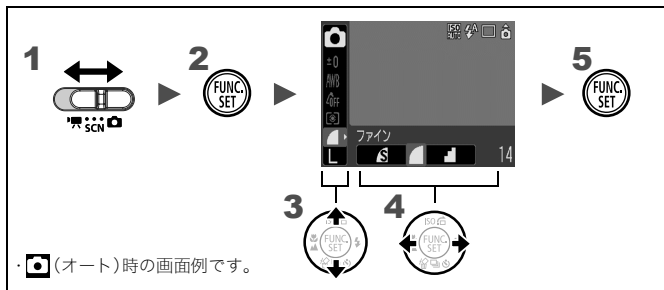
操作の基本

メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付/時刻、電子音などのカメラの設定は、FUNC./SET ボタンまたは MENU ボタンを使って操作します。

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。

・(オート)時の画面例です。

1 モードスイッチを、SCNまたはにする

2 を押す

3 ↑/↓でメニュー項目を選ぶ

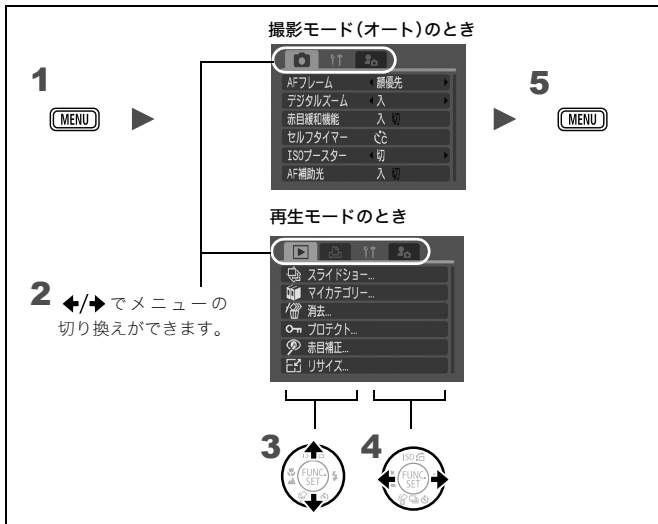
撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

4 ←/→で設定内容を選ぶ

- DISP. が表示された選択項目は、DISP. ボタンで設定を変更します。
- 選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

5 を押す

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

1 MENU を押す

2 ←/→ でメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

3 ↑/↓でメニュー項目を選ぶ

4 ←/→ で設定内容を選ぶ

「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定し、MENU ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

5 MENU を押す

メニュー一覧と初期設定

巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定（お買い上げ時の設定）を表します。

	項目	参照先
	撮影モード	p.44
	スペシャルシーンモード	p.78
	動画撮影モード	p.84
±0	露出補正	p.100
1"	長秒時撮影	p.101
AWB	ホワイトバランス	p.102
OFF	マイカラー	p.105
	測光方式	p.100
	圧縮率（静止画）	p.73
1"	撮影間隔（動画）	p.87
L	記録画素数（静止画）	p.72
640	記録画素数（動画）	p.86

撮影メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
AF フレーム	顔優先＊ /AiAF/ 中央	p.91
AF フレームサイズ	標準＊ / 小	p.93
デジタルズーム		p.65
（静止画）	入＊ / 切 / テレコン 1.6x/ テレコン 2.0x	
（動画）	入＊ / 切（スタンダードのみ）	
スローシンクロ	入 / 切＊	p.83
赤目緩和機能	入＊ / 切	p.82
セルフタイマー	時間：0 ～ 10 ＊、15、20、30 秒 枚数：1 ～ 3 ＊～ 10 枚	p.70
ISO ブースター	切＊ / ボタン / 自動	p.98
AF 補助光	入＊ / 切	p.175
撮影の確認	切 /2 秒＊～ 10 秒 / ホールド	撮影直後に画像を表示する時間を設定できます（p.16）。
レビュー情報	非表示＊ / 詳細表示 / ピント確認	p.90
オリジナル保存	入 / 切＊	p.111

自動カテゴリー	入* / 切	p.112
撮影ガイド		p.115
（静止画）	切* / グリッドライン / 3:2 ガイド / 両方	
（動画）	切* / グリッドライン	
手ぶれ補正		p.76
（静止画）	入* / 撮影時 / 流し撮り / 切	
（動画）	入* / 切	
日付写し込み	切* / 日付のみ / 日付＋時刻	p.75
ボタン機能登録	* / / / / / / / /	p.113

再生メニュー

項目	参照先
スライドショー	p.135
マイカテゴリー	p.126
消去	p.154
プロテクト	p.150
赤目補正	p.140
リサイズ	p.146
レタッチマイカラー	p.144
音声メモ	p.147
サウンドレコーダー	p.149
回転	p.133
送信指定	p.166
再生ボタン機能登録	p.158
再生効果	p.134

印刷メニュー

項目	参照先
印刷	p.159
印刷する画像を指定	
範囲で指定	
日付で指定	
マイカテゴリーで指定	
フォルダで指定	
すべての画像を指定	
すべての指定を解除	
印刷の設定	

設定メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	[入]にすると、警告音以外はすべて鳴りません。
音量	切 / 1 / 2＊ / 3 / 4 / 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、[消音]が[入]になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンやタッチホイールを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影の2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、音声メモまたはサウンドレコーダーの音量を調節します。
ホイール表示	入＊ / 切	タッチホイールに触れたとき、液晶モニターにタッチホイールの拡大図を表示するかどうかを設定します(p.41)。
液晶の明るさ	－7～0＊～＋7	←/→ボタンで液晶モニターの明るさを調整します。 画像の明るさを確認しながら調整できます。
節電		p.45
オートパワーオフ	入＊ / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10秒/20秒/30秒/1分＊/2分/3分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。
エリア設定	自宅＊ / 訪問先	p.60

日付／時刻		p.12
時計表示	0 ～ 5 *～ 10 秒 / 20 秒 /30 秒 / 1 分 /2 分 /3 分	p.46
カードの初期化		物理フォーマットも設定できます(p.63)。
画像番号	通し番号* / オートリセット	p.119
フォルダ作成		p.117
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切* / 毎日 / 月曜～日曜 / 毎月	自動作成する時間も設定できます。
縦横自動回転	入* / 切	p.116
レンズ収納時間	1 分* /0 秒	レンズの収納タイミングを設定します(撮影モードから再生モードへの切り換え時)。
言語		p.13
ビデオ出力方式	NTSC * /PAL	p.168
印刷接続方式	自動* / [アイコン]	下記参照
初期設定		p.62

印刷接続方式について

プリンターとの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、W（ワイド）で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP750/CP740/CP730/CP720/CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは、[アイコン]を選択してください。この設定は電源を切っても記憶されますので、W以外の画像サイズを印刷するときは、[自動]に戻してください（ただし、プリンター接続中は変更できません）。

マイカメラメニュー

＊初期設定

項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	p.169
起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で撮影の 2 秒前をお知らせする音を選びます。	
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます(動画撮影時には鳴りません)。	
設定内容	(切)/ 1 * / 2 / 3	

液晶モニターの表示を切り換える

1 DISP. を押す

・DISP. ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

・撮影の設定を変更したときは、液晶モニターの設定に関係なく約 6 秒間撮影情報が表示されます。

- 、、、、のとき、液晶モニターは常に[情報表示あり]に設定されます。
- 拡大表示時、インデックス再生時は、詳細表示やフォーカスチェッカー表示に切り換わりません。

液晶モニターに表示される情報

■ 撮影モードのとき

[ ]スポット測光枠 / [ ]顔フレーム / □AF フレーム

①	撮影モード		p.14、p.68、p.78、p.80、p.84
	露出補正	-2 ・・・ +2	p.100
	長秒時撮影	1" ・・・ 15"	p.101
	ホワイトバランス	AWB	p.102
	マイカラー		p.105
	測光方式		p.100
	圧縮率（静止画）		p.73
	撮影間隔（動画）	1" 2"（ 選択時）	p.87
	記録画素数（静止画）	L M1 M2 M3 S W	p.72
	記録画素数（動画）	640 640LP 320 160	p.86
	手ぶれ警告	（赤）	p.174

②	デジタルテレコン / セーフティズーム	1.6x/2.0x	p.65
	マクロ / 遠景モード		p.69
	ISO 感度*	(・・・)	p.97
	ストロボ		p.68
	ドライブモード		p.70、p.81
	縦横自動回転		p.116
	録画(動画撮影中)	[●録画]	p.85
	バッテリー残量		p.191
③	AE ロック /FE ロック		p.95、p.96
	AF ロック		p.94
	エリア設定		p.60
	フォルダ作成通知		p.117
	静止画:記録可能画像数 動画:記録可能時間 / 記録時間		p.206 p.207
④	シャッタースピード*		–
	絞り数値*		–
	露出シフトバー(動画)		p.86
	手ぶれ補正		p.76

*シャッターボタンを半押しすると表示されます。ただし、ストロボ発光時はカメラが自動的に最適条件に再設定するため、再生情報の表示と異なる場合があります。

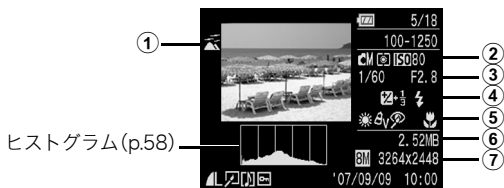
ランプが橙色に点滅し、が赤色で表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。以下の方法で撮影してください。

- 手ぶれ補正を[切]以外に設定する(p.76)
- ISO 感度を上げる(p.97)
- ISO ブースターを[切]以外に設定する(p.98)
- ストロボをに以外に設定する(p.68)
- 三脚などでカメラを固定する

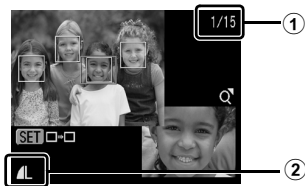
■ 再生モードのとき

簡易表示

①	絞り込み再生		p.125
②	バッテリー残量表示		p.191
	再生画像番号 / 総画像数		－
	フォルダ番号-画像番号		p.117
③	圧縮率(静止画) 記録画素数(静止画) 動画	L M1 M2 M3 S XS AVI	p.72、p.87
	赤目補正 / レタッチマイカラー/ リサイズの画像		p.140、p.144、p.146
	WAVE タイプの音声		p.147
	プロテクト情報		p.150
	撮影日時		p.12

詳細表示

①	自動カテゴリー/ マイカテゴリー		p.112、p.126
②	撮影モード		p.14、p.68、p.78、p.80、p.84
	測光方式		p.100
	ISO 感度	ISO 80 ･･･ ISO 1600	p.97
③	シャッタースピード		−
	絞り数値		−
	時計、撮影間隔	1" 2" (選択時)	p.87
	記録画素数 / フレームレート(動画)	640 640 LP 320 160 L30 L15	p.87
④	露出補正	-2 ･･･ +2	p.100
	ストロボ		p.68
⑤	ホワイトバランス	AWB	p.102
	マイカラー、ワンポイントカラー/ スイッチカラー	V N Se BW P L D B G R C A S	p.105、p.107、p.109
	赤目補正の画像		p.140
	マクロ / 遠景モード		p.69
⑥	ファイルサイズ		p.208
⑦	記録画素数(静止画)、記録時間(動画)		p.72、p.84

フォーカスチェッカー表示

①	再生画像番号 / 総画像数		–
②	圧縮率(静止画)	S（スーパーファイン） ファイン ノーマル	p.73
	記録画素数(静止画)	L M1 M2 M3 S XS ワイド W	

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

	WAVE タイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
⚠	DCF（p.202）の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
?	記録画素数が認識できない画像です。

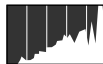
他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、画像の明るさを判断する目安となるグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します(p.100)。

ヒストグラム例

暗い画像

普通の明るさの画像

明るい画像

液晶モニターの明るさについて

液晶モニターの明るさの変更方法

次の 2 つの方法があります。

- **設定メニューで変更する(p.51)**
- **「LCD ブースター」機能で変更する**
  DISP. ボタンを 1 秒以上押すと、設定メニューで選択されている明るさにかかわらず、最大の明るさに変更できます*。
  - 元の明るさに戻すとき：再度、DISP. ボタンを 1 秒以上押す
  - 次回電源を入れたとき：設定メニューで選択されている明るさで表示される

*すでに、設定メニューで最大の明るさに設定されている場合は、変更できません。

「ナイトビュー」について

このカメラは、夕暮れや夜間など周囲が暗くて画面が見にくいとき、被写体を液晶モニターに明るく映し出す「ナイトビュー」を搭載しています。これにより、暗い場所でも構図の確認がしやすくなっています(設定を切ることはできません)。

- 液晶モニターにノイズが表示されたり、表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

世界時計を設定する

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先(旅行先)のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付 / 時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

自宅 / 訪問先のエリアを設定する

1 [エリア設定]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. ←/→ で[ ]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[エリア設定]を選ぶ
4. (FUNC. SET) を押す

2 (自宅)を選ぶ

1. ↑/↓ で を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・初めてお使いになる場合には右の画面が表示されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押します。

3 自宅エリアを選ぶ

1. ←/→ で自宅エリアを選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・サマータイムを設定する場合は、↑/↓ ボタンで を選び、設定します。時刻は 1 時間プラスされます。

4 ✈(訪問先)を選ぶ

1. ↓ で ✈ を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

5 訪問先エリアを選ぶ

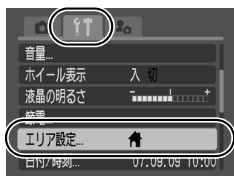
1. ←/→ で訪問先エリアを選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・手順3と同様に、サマータイムを設定できます。

自宅エリアからの時差

訪問先に切り換える

1 [エリア設定]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. ←/→ で[🔧]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[エリア設定]を選ぶ
4. (FUNC./SET) を押す

2 ✈(訪問先)を選ぶ

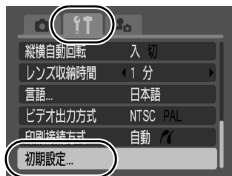
1. ←/→ で ✈ を選ぶ
2. (MENU) を押す

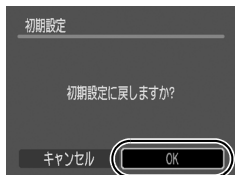
・訪問先のエリアを変更する場合は、FUNC./SET ボタンを押します。
・訪問先の日付に切り換えると、液晶モニターに ✈ が表示されます。

訪問先が選択されているときに、日付 / 時刻の変更を行うと、自宅の日時も自動的に変更されます。

設定を初期状態に戻す

1 [初期設定]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. ←/→ で[ ]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[初期設定]を選ぶ
4. (FUNC. SET) を押す

2 設定する

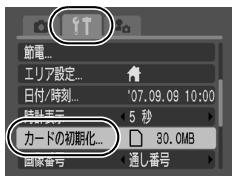
1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - [ ]メニューの[エリア設定]、[日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]の設定(p.51、p.52)
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ(p.103)
  - [ワンポイントカラー](p.107)と[スイッチカラー](p.109)で取り込んだ色
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ(p.170)

カードを初期化する

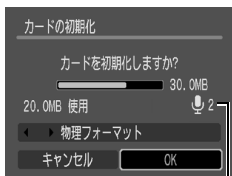
新しいカードをお使いになるときや、カード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、カードを初期化します。

- 初期化すると、カードに記録された画像(プロテクト画像も含む)だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 🎙のアイコンが画面に表示されているときは、サウンドレコーダーのデータが残っています。十分に確認してから、初期化してください。

1 [カードの初期化]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で[🔧]メニューを選ぶ
3. ↑/↓ で[カードの初期化]を選ぶ
4. FUNC./SET を押す

2 設定する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・物理フォーマットをする場合は、↑ ボタンで[物理フォーマット]を選び、←/→ ボタンでチェックをつけます。
・物理フォーマットの場合、初期化中に FUNC./SET ボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。

サウンドレコーダーのデータ(p.149)がある場合に表示されます。

物理フォーマットについて
カードへの記録や読み出しの速度が低下したと思われる場合などは、[物理フォーマット]を選択することをおすすめします。なお、カードによっては、物理フォーマットに2〜3分かかる場合があります。

撮影時によく使う機能

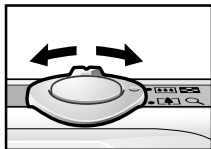
タッチホイールでも撮影モードの選択や FUNC. メニューの設定内容の選択などが行えます。p.41 をご確認ください。

光学ズームで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

35mm フィルム換算で、28～105mm(焦点距離)の範囲で画角を調節できます。

1 ズームレバーを 側、または 側に押す

- 広角：被写体が小さくなります。
- 望遠：被写体が大きくなります。

デジタルズーム / デジタルテレコンで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

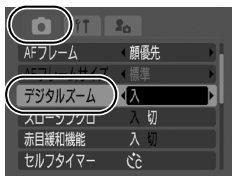
光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。
焦点距離(35mm フィルム換算)と特長は次のとおりです。

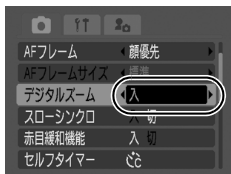
選択項目	焦点距離	特長
入	28 ～ 420mm	光学ズームとデジタルズームの組み合わせで、最大約 15 倍に拡大して撮影できます。動画では、スタンダードモード時のみ設定できます。
切	28 ～ 105mm	デジタルズームを使わずに撮影します。
テレコン1.6x	44.8～168mm	デジタルズームが選択項目の倍率に固定され、焦点距離が望遠側に移動します。同じ画角の撮影では、[入]や[切]のときに比べ、より速いシャッタースピードが利用でき、手ぶれしにくくなります。
テレコン2.0x	56 ～ 210mm	

- (L 判プリント)、(ワイド)のときは、設定できません。
- では[テレコン 1.6x]、[テレコン 2.0x]の設定はできません。

デジタルズームで撮る

1 [デジタルズーム]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから ▲/▼で[デジタルズーム]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で[入]を選ぶ
2. MENU を押す

3 ズームレバーを[望遠]側に押し、撮影する

- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 記録画素数によっては、画像が粗くなります。このとき、画像が粗くなる倍率は青色で表示されます。
- [広角] 側へ押すと、倍率が下がります。

セーフティズームについて

このカメラは、設定された記録画素数に応じて、画質が劣化しない倍率まで一時停止することなく、光学ズームからデジタルズームに移行する「セーフティズーム」を搭載しています。画質劣化のない最大倍率で[セーフティズーム]が表示され、再度[望遠]側にズームすると、さらに拡大できます。
設定している記録画素数によって、セーフティズームの位置が次のようになります。

セーフティズーム倍率

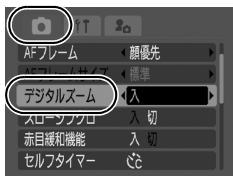
記録画素数	光学ズーム	デジタルズーム
L	3.8x ➔	
M1		4.8x ➔
M2		6.1x ➔
M3		7.8x ➔
S		15x ➔

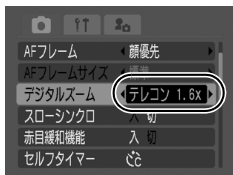
□ ■（淡灰色）:画像劣化しない領域　■（濃灰色）:画像劣化する領域

デジタルテレコンで撮る

デジタルズームを使って、テレコンバーター（望遠撮影するためのレンズ）の機能を実現したものが、デジタルテレコンです。

1 [デジタルズーム]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [●]メニューから ▲/▼ で[デジタルズーム]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[テレコン1.6x]または[テレコン 2.0x]を選ぶ
2. MENU を押す

3 ズームレバーで画角を調節し、撮影する

- 液晶モニターに T が表示されます。
- 記録画素数によっては、画質が粗くなります（T と倍率が青色で表示されます）。

至近距離を拡大して撮る（デジタルマクロ）

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

レンズ先端から被写体までの距離が3～60cmのときに使います(ワイド端固定)。デジタルズームの倍率が最大(約 4.0 倍)のときの撮影範囲は、12 × 9mm です。

1 デジタルマクロを選ぶ

1. モードスイッチを に合わせる
2. (FUNC. SET) を押す
3. ▲/▼ で を選び、◀/▶ で を選ぶ
4. (FUNC. SET) を押す

2 ズームレバーで画角を決め、撮影する

・液晶モニターに拡大した倍率が表示されます。

ストロボを使って撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

1 を押す

1. ◀/▶ でストロボのモードを変更する

・ :[オート]
・ :[常時発光]
・ :[発光禁止]

手ぶれ警告アイコン( )が表示されたときは、三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

至近距離 / 遠距離で撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

至近距離や遠距離での撮影ができます。

	至近距離(マクロ)	花や小さなものなどに近付いて大きく撮れます。 被写体に最も近付いたときの撮影範囲(撮影距離) 最も広角側:46 × 34mm(レンズ先端から 3cm) 最も望遠側:108 × 81mm(レンズ先端から 30cm)
	遠距離(遠景)	レンズ先端から被写体までの距離が 3m 以上離れているときに使います。

1 / を押す

1. ←/→ で または を選ぶ

解除のしかた: / ボタンを押し、←/→ で (通常)を選ぶ

マクロモードで撮影するときにストロボを使うと、画像の周辺部が暗くなることがあります。

セルフタイマーを使って撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

撮影の開始時間や撮影枚数を設定して撮影できます。

10秒	10 秒:シャッターボタンを押してから、10 秒後に撮影します。 ・ 撮影の 2 秒前になるとセルフタイマー音が速く鳴り*、セルフタイマーランプの点滅も速くなります。
2秒	2 秒:シャッターボタンを押してから、2 秒後に撮影します。 ・ シャッターボタンを押すと同時にセルフタイマー音が速く鳴り*、2 秒後に撮影されます。
カスタム	カスタム:セルフタイマーの開始時間(0 ~ 10、15、20、30 秒後)や撮影枚数(1 ~ 10 枚)を変更して撮影できます。 ・ [時間]が 2 秒以上の場合、セルフタイマー音は撮影の 2 秒前から速く鳴り始めます*。[枚数]で複数画像を設定したときは、1 画像目の撮影時のみセルフタイマー音が鳴ります。 ・ 、 、 および動画では設定できません。

*マイカメラコンテンツ(p.169)の設定により異なります。

1 を押す

1. ▲/▼でセルフタイマーのモードを変更する

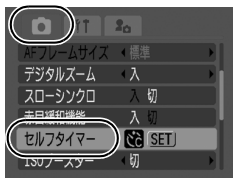
2 撮影する

・シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーランプが点滅(赤目緩和機能設定時は、撮影の 2 秒前から点灯)します。

解除のしかた: ボタンを押し、▲/▼で を選ぶ

撮影開始時間と撮影枚数を変更する（）

1 [セルフタイマー]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから ↑/↓ で[セルフタイマー]を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

2 設定する

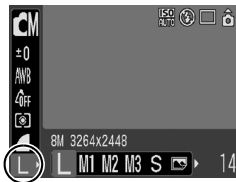
1. ↑/↓ で[時間]または[枚数]を選び、←/→ で設定内容を変更する
2. FUNC./SET を押す
3. MENU を押す

[枚数]が 2 枚以上の場合、次のようになります。
- 1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。
- ストロボが発光するときは、撮影間隔が長くなります。
- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなることがあります。
- カードの容量がいっぱいになると自動的に撮影を終了します。

記録画素数 / 圧縮率を変更する（静止画）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

1 記録画素数を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ▲/▼ で L を選び、◀/▶ で変更する
3. FUNC. SET を押す

記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数				用途
L ラージ	8M	3264 × 2448	大きい	A3 サイズ程度に印刷するとき
M1 ミドル 1	5M	2592 × 1944	↑	A4 サイズ程度に印刷するとき
M2 ミドル 2	3M	2048 × 1536		A5 サイズ程度に印刷するとき
M3 ミドル 3	2M	1600 × 1200	↓	L 判やはがきサイズに印刷するとき
S スモール	0.3M	640 × 480	小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき
L判プリント		1600 × 1200	L 判やはがきサイズに印刷するとき	
W ワイド		3264 × 1832	ワイドサイズの用紙に印刷するとき（縦横比16:9の画像を確認でき、記録されない領域は、液晶モニター上に黒帯が表示されます。）	

：おおよその記録画素数を示しています。「M」は、Megapixel の略です。

1 圧縮率を選ぶ

1. (FUNC./SET) を押す
2. ↑/↓ で を選び、←/→ で変更する
3. (FUNC./SET) を押す

圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- 1 画像の容量(目安)(p.208)
- カードの種類と記録可能画像数 / 時間(目安)(p.206)

L判プリントモードに設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

液晶モニターで印刷範囲(縦横比 約3:2)を確認しながら、「L判」や「はがき」サイズの印刷に最適な撮影ができます。

1 L判プリントモードを選ぶ

1. FUNC./SET を押す
2. ↑/↓で L を選び、←/→ で を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

・記録画素数は約200万画素、圧縮率はファインに固定されます。
・印刷されない領域がグレーになります。

デジタルズームやデジタルテレコンは使用できません。

印刷については、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

画像に日付を写し込む

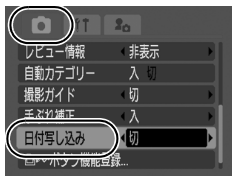
各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

(L判プリント)のとき、画像に日付を写し込むことができます。

1 L判プリントモードを選ぶ

1. を押す
2. ↑/↓ で L を選び、←/→ で を選ぶ
3. を押す

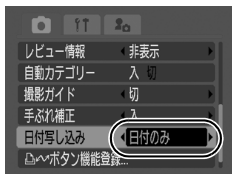
2 [日付写し込み]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから ↑/↓で[日付写し込み]を選ぶ

3 設定する

1. ←/→ で[日付のみ]または[日付+時刻]を選ぶ
2. MENU を押す

・液晶モニターの表示は、次のとおりです。

[切]のとき:

[日付のみ]/[日付+時刻]のとき:

- あらかじめカメラの日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください(p.12)。
- 画像に写し込んだ日付は削除できません。

以外で日付を入れて印刷したいときは、付属のソフトウェア(ZoomBrowserEX、ImageBrowser)をお使いになるか、プリンターで設定をしてください。詳細は、各製品の使用説明書でご確認ください。

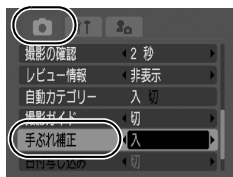
手ぶれ補正を設定する

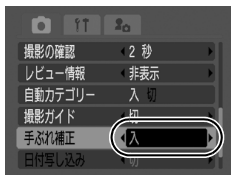
各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

手ぶれ補正を使うと、遠くの被写体を大きくして撮影したいときや、薄暗い場所でストロボを発光せずに撮影するときでも手ぶれを抑えた撮影ができます。

ー	切	ー
	入	常時、手ぶれを補正します。液晶モニターで手ぶれ補正の効果を確認できるため、構図を決めたり、ピント合わせがしやすくなります。
	撮影時	シャッターがきれる瞬間のみ手ぶれを補正します。[入]に設定した場合に被写体によっては感じることのある、液晶モニター上の不自然な揺れを気にせずに撮影できます。動画では設定できません。
	流し撮り	カメラが上下方向にぶれたときにだけ、手ぶれを補正します。横方向に動いているものを、カメラで追いかけて撮影するときにおすすめします。動画では設定できません。

1 [手ぶれ補正]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから ▲/▼ で[手ぶれ補正]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で手ぶれ補正の種類を選ぶ
2. MENU を押す

- シャッタースピードが遅くなる撮影では、手ぶれを補正しきれないことがあります。ISO ブースター(p.98)を[切]以外に設定するか、三脚を使って撮影してください。
- 手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- [流し撮り]は、カメラを横に構えてお使いください(カメラを縦に構えると補正を行いません)。
- [撮影時]または[流し撮り]に設定後、動画を撮影する場合は[入]に自動で変更されます。

いろいろな撮影

タッチホイールでも撮影モードの選択や FUNC. メニューの設定内容の選択などが行えます。p.41 をご確認ください。

撮影シーンに合わせて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

撮影シーンに最適な撮影ができます。

1 撮影モードを選ぶ

1. モードスイッチを SCN に合わせる
2. FUNC. SET を押す
3. ▲/▼で ポートレート を選び、◀/▶ でスペシャルシーンモードを選ぶ
4. FUNC. SET を押す

ポートレート

人物をやわらかい調子で撮影できます。

ナイトスナップ

夕暮れや夜景をバックに人物をスナップ撮影したいとき、三脚がなくても手ぶれを少なく撮影できます。

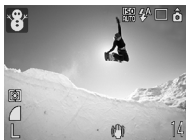
キッズ&ペット

よく動きまわる子供やペットを、シャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

パーティー/室内

蛍光灯や電球のもとで、手ぶれをおさえて被写体に忠実な色味で撮影できます。

新緑/紅葉

新緑、紅葉、桜など、木々や葉を色鮮やかに撮影できます。

スノー

雪景色をバックにしても人物が暗くならず、青みも残らないで撮影できます。

ビーチ

太陽光の反射の強い海面や砂浜でも、人物などが暗くならずに撮影できます。

打上げ花火

打上げ花火を最適な露出で鮮やかに撮影できます。

水族館

屋内の水槽内の魚などを撮影するのに適した感度、ホワイトバランス、色味に設定されます。

水中

ウォータープルーフケース WP-DC17(別売)を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。

- では、シャッタースピードが遅くなります。手ぶれを防ぐために必ず三脚をお使いください。
- 、、、、では、撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

水中で撮影する場合は、ウォータープルーフケース WP-DC17を装着してください。なお、雨天時や、海辺、スキー場などで撮影する場合も、装着をおすすめします。

マニュアルモードで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

露出を補正したり、ホワイトバランス、マイカラーなどを自分で選んで撮影できます。

1 マニュアルモードを選ぶ

1. モードスイッチを に合わせる
2. を押す
3. ↑/↓で を選び、←/→ で を選ぶ
4. を押す

連続して撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。
なお、推奨カード*をお使いの場合は、一定の撮影間隔でカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影(スムーズ連写)できます(p.206)。

*推奨カード:
撮影の直前に物理フォーマット(p.63)を行った超高速の SDC-512 MSH(別売)
- 当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
- 連続撮影が中断したときに、カードの容量が余る場合があります。

1 を押す

1. ▲/▼で を選ぶ

2 撮影する

・シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。
・シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた:手順 1 で を選ぶ

- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

赤目緩和機能を設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

ストロボ発光時、ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減します。

1 [赤目緩和機能]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから↑/↓で[赤目緩和機能]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

[入]に設定すると、ストロボ発光前に赤目緩和ランプが橙色に点灯します。

スローシンクロを設定する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、ストロボ発光時に背景だけが暗くなるのを軽減できます。

1 [スローシンクロ]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから ▲/▼で[スローシンクロ]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

スローシンクロで撮影すると手ぶれしやすくなりますので、三脚をお使いになることをおすすめします。

動画を撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

動画撮影には、次のモードがあります。
各モードの記録画素数とフレームレートについては、「記録画素数 / フレームレートについて(p.87)」をご覧ください。
＊記録可能時間は、お使いのカードによって異なります(p.207)。

スタンダード

記録画素数を選び、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます＊1。また、撮影中にデジタルズームが使えます(p.65)。

・ 1 回の最大記録容量:4GB＊2

ライト

記録画素数が小さく容量が少ないため、メールに添付したり、カードの容量が少ないときなどに使うと便利です。

・ 1 回の最長記録時間:3 分

ワンポイントカラー、スイッチカラー

画像の指定した色以外を白黒にしたり、指定した色を別の色に変えて撮影できます(p.107、p.109)。
スタンダードと同様に、記録画素数を選び、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます＊1。

・ 1 回の最大記録容量:4GB＊2

インターバル

撮影の間隔(1 秒または 2 秒)を選び、その間隔で 1 フレームずつ撮影します。2 時間分の撮影は、8 分(撮影間隔 1 秒)または 4 分(撮影間隔 2 秒)に短縮して再生されます。開花する植物の観測などの定点観測を動画で記録でき、変化する様子を短時間で見ることができます。音声の記録はできません。

・ 1 回の最長記録時間:2 時間

＊1 超高速のカード使用時(推奨カード:SDC-512MSH)
＊2 記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。カードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

1 動画撮影モードを選ぶ

1. モードスイッチを 🎥 に合わせる
2. (FUNC. SET) を押す
3. ▲/▼で を選び、◀/▶ で変更する
4. (FUNC. SET) を押す

・ 、 の手順は、「色を変えて撮る(p.107)」をご覧ください。

2 撮影する

・シャッターボタンを半押しすると、露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。
・シャッターボタンを全押しすると撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
・撮影中は、液晶モニターに撮影時間と[●録画]が表示されます。
・再度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
- 最長記録時間を経過したとき
- カメラ内部のメモリーやカードの容量がいっぱいになったとき

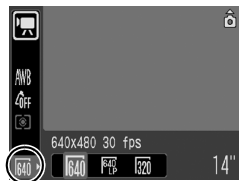
● 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したカードをお使いください(p.63)。付属のカードはそのままお使いになれます。
● 撮影中は、次のことに注意してください。
- マイク(p.38)に触れないでください。
- シャッターボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。
- 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
● フォーカス、光学ズームは、撮影を開始したとき(最初のフレーム)の設定値に固定されます。

- 撮影前に、露出の固定(AE ロック)や変更(露出シフト)ができます。スキー場やビーチなど被写体と背景のコントラストが極端に強いシーンや、画面内に明るい場所と暗い場所が混在するシーンで、撮影意図に応じて露出を合わせたいときに有効です。
  1. ISO を押す
     露出が固定(AE ロック)され、液晶モニターに露出シフトバーが表示されます。
  2. ←/→ で露出を変更する
     もう一度、ISO を押すと解除できます。また、MENU ボタンを押したり、ホワイトバランス、マイカラー、撮影モードを変更すると解除されます。
- ボタンにを登録すると、モードスイッチが、SCN の位置でも、ボタンを押すだけで動画を撮影できます(p.113)。
- 動画(タイプ:AVI、圧縮方法:Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime が必要です (Windows 2000 のみ)。

記録画素数を変更する

(スタンダード)、(ワンポイントカラー)、(スイッチカラー)のときは、記録画素数を変更できます。

1 記録画素数を選ぶ

1. FUNC. SET を押す
2. ↑/↓で を選び、←/→ で変更する
3. FUNC. SET を押す

記録画素数 / フレームレートについて

フレームレートは、1秒間に撮影/再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

スタンダード	*1	640 × 480 画素、30 フレーム / 秒
ワンポイントカラー	*2	640 × 480 画素、30 フレーム / 秒 LP
スイッチカラー		320 × 240 画素、30 フレーム / 秒
ライト		160 × 120 画素、15 フレーム / 秒
インターバル	*3	640 × 480 画素、15 フレーム / 秒

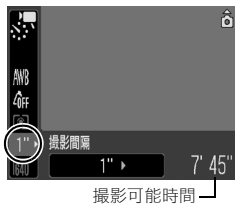
*1 初期設定
*2 画質より撮影時間を優先したい場合は、[LP](Long　Play)の表示がある方を選んでください。同じファイル容量で約 2 倍の時間撮影ができます。
*3 撮影時のフレームレートは 1" :1 フレーム / 秒(撮影間隔:1 秒)、2" :0.5 フレーム / 秒(撮影間隔:2 秒)
再生時のフレームレートは 1" 2" :15 フレーム / 秒

- 1 画像の容量(目安)(p.208)
- カードの種類と記録可能画像数 / 時間(目安)(p.206)

撮影の間隔を変更する (インターバル)

1 撮影間隔を選ぶ

1. FUNC.SET を押す
2. ↑/↓で 1" を選び、→ で変更する
3. FUNC.SET を押す

・撮影中は、ランプが緑色に点滅します。

- 撮影時間が長くなるため、フル充電したバッテリー、または AC アダプターをお使いになることをおすすめします。
- 節電の設定(p.45)に応じて液晶モニターが消えます。電源スイッチとシャッターボタン以外を操作すると液晶モニターが表示されます。
- 再生するとき、液晶モニターには録画開始から終了までの経過時間が表示されますが、実際の再生時間は表示時間より短縮されます。

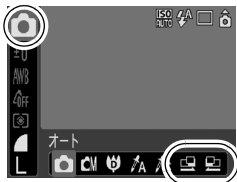
パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成(スティッチ)し、パノラマ画像を作るときに使います。

複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

1 撮影の方向を選ぶ

1. モードスイッチを に合わせる
2. FUNC./SET を押す
3. ▲/▼ で を選び、◀/▶ で または を選ぶ
4. FUNC./SET を押す

：左から右方向へ水平に撮影します。
：右から左方向へ水平に撮影します。

2 最初の画像を撮影する

・1 画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

3 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

・◀/▶ ボタンを押すと、1 つ前の撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
・オーバーラップは多少ずれても、パソコンで合成するときに修正されます。

4 同様の操作で 3 画像目以降を撮影する

・最大 26 画像まで撮影できます。

5 最後の撮影後、FUNC./SET を押す

- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2 画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

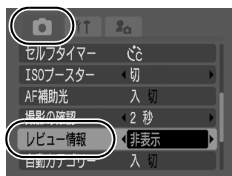
パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

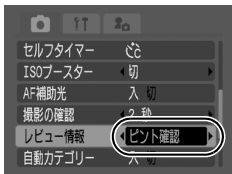
ピントや人物の表情を確認する（フォーカスチェッカー）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

撮影した画像のピントが確認できます。また、顔優先のときは、顔の大きさに合わせた枠が表示されますので、顔の表情や目を閉じていないかなどもかんたんに確認できます。
なお、あらかじめ[ ]メニューの[撮影の確認]で、[ホールド]に設定することをおすすめします。

1 [レビュー情報]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ]メニューから ▲/▼で[レビュー情報]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[ピント確認]を選ぶ
2. MENU を押す

3 撮影する

・撮影した画像が表示されます。

撮影した画像

橙色の枠内表示

・枠が次のとおりに表示されます。

枠の色	内容
橙	右下に表示された画像の範囲を表示します。
白	ピントの合った位置に表示されます(AF フレーム)。

・橙色の枠は、表示倍率の変更、表示位置の移動、表示フレームの切り換えができます(p.124)。

解除のしかた:シャッターボタンを半押しする

- 画像右下が大きく表示されているときは、ボタンを押しても画像を消去できません。
- 再生モードにしても、ピントの確認ができます(p.123)。

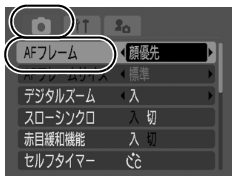
ピントの合わせかたを切り換える

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

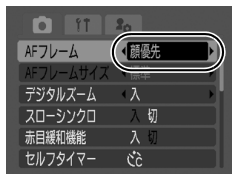
オートフォーカス枠(AFフレーム)は、ピントを合わせるための枠です。

[ ]	顔優先	カメラが自動的に顔の位置を検出し、顔にピントと露出*を合わせた撮影ができます。 *評価測光時のみ(p.100)
(枠なし)	AiAF	撮影状況に応じて、9つのAFフレームの中からカメラが自動的に AF フレームを選択してピントを合わせます。
□	中央	中央の AF フレームだけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせるときにおすすめします。AF フレームの大きさを変更できます(p.93)

1 [AF フレーム]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. [●] メニューから ▲/▼で[AF フレーム]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で AF フレームの種類を選ぶ
2. MENU を押す

・AFフレームサイズを変更する(p.93)

シャッターボタンを半押ししたときの AF フレームの表示は、次のとおりです。
- 緑色　:ピントが合っているとき
- 黄色　:ピントが合いにくいとき([中央]設定時)
- 非表示:ピントが合いにくいとき([顔優先][AiAF]設定時)

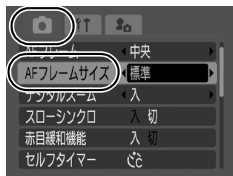
顔優先について

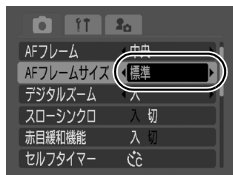
- カメラが顔と認識した位置に顔フレームが最大3つまで表示されます。このとき、カメラが主被写体と判断した箇所に白色のフレーム、その他の箇所にグレーのフレームが表示されます。シャッターボタンを半押しすると、最大9つまで緑色の AF フレームが表示されます。
- 白色のフレームが表示されず、グレーのフレームのみが表示された場合、または顔が検出されなかった場合、撮影時には[顔優先]ではなく[AiAF]で撮影されます。
- 人物以外の被写体を、カメラが誤って顔と検知することがあります。
- 顔が検出されない主な例は、次のとおりです。
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
  - 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

AF フレームサイズを変更する

[AFフレーム]が[中央]のときは、被写体に合わせてAFフレームの大きさを変更できます。狙った主被写体が小さいときや、被写体の特定の部分にピントを合わせたいときに、[小]を選択すると、ピントを合わせる範囲を絞り込めます。

1 [AF フレームサイズ]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [●]メニューから ▲/▼で[AFフレームサイズ]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[標準]または[小]を選ぶ
2. MENU を押す

デジタルズームやデジタルテレコン使用時は、[標準]に設定されます。

ピントが合いにくい被写体を撮る（フォーカスロック、AF ロック）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。
・コントラストが極端に低い被写体
・近いものと遠いものが混在する被写体
・画像中央部が極端に明るい被写体
・高速で移動する被写体
・ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の、異なる被写体を、AF フレームに収める

2 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

3 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

で操作できます。

1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の、異なる被写体を、AF フレームに収める

2 シャッターボタンを半押ししながら、/ ボタンを押す

・ が表示されます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：/ ボタンを押す

- フォーカスロックまたは AF ロック撮影をする場合、[AF フレーム]を[中央](p.91)にすると、中央のAFフレーム1点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。
- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後もAFロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。
- 動画では AF フレームは表示されません。

露出を固定して撮る（AE ロック）

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

1 ボタンを押して、(発光禁止) を選ぶ

2 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

3 シャッターボタンを半押ししながら、ISO ボタンを押す

・AEL が表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：ISO ボタンを押す

- 動画のときも、AE ロックの設定 / 解除ができます(p.86)。
- ストロボをお使いのときは、FE ロックで撮影してください。

FE ロックで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 ボタンを押して、(常時発光)を選ぶ

2 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

3 シャッターボタンを半押ししながら、ISO ボタンを押す

・ストロボがプリ発光し、FEL が表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた: ISO ボタンを押す

ISO ISO 感度を変更する

➔ 各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるためにシャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO 感度を上げます。

1 ISO ボタンを押す

1. ↑/↓で ISO 感度を変更する

・ボタンを押すごとに、ISO 感度の切り換えができます。
・ISO AUTO(オート)を選ぶと、撮影時の明るさに応じて画質を優先した最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるためシャッタースピードが速めになり、手ぶれが低減されます。
・ISO HI(高感度オート)*を選ぶと、ISO AUTO よりも感度が高めに設定されます。そのため、シャッタースピードがより速めになり、同じシーンを撮影しても ISO AUTO に比べ、手ぶれや被写体ぶれが低減されます。

＊ ISO AUTO に比べて撮影画像にノイズが増えることがあります。

・撮影モードが ◘(オート)のときは、ISO AUTO、ISO HI のみ選択できます。
・長秒時撮影(p.101)のときは、ISO AUTO、ISO HI は選択できません。

- 高い ISO 感度で撮影する場合には、カメラが自動的にノイズを低減する処理を行います。
- ISO AUTO または ISO HI に設定した場合、シャッターボタンを半押ししたときや再生情報には、カメラが自動的に設定したISO感度が表示されます。

手ぶれを軽減して撮る（ISO ブースター）

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

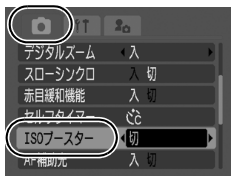
撮影時に手ぶれ警告アイコン( )が表示されたとき、ISO感度を上げ、手ぶれしにくいシャッタースピードで撮影することができます。

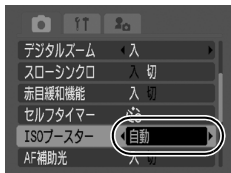
切	
ボタン	変更前と変更後の ISO 感度やシャッタースピードを、液晶モニターで確認しながら撮影できます。
自動	手ぶれしにくい最適な感度に、自動的に設定されます。

- 、 、 のとき、長秒時撮影時、ストロボ発光時は、動作しません。
- 撮影の状況によっては、ISO 感度を上げても、手ぶれ警告アイコン( )が消えないことがあります。

設定する

1 [ISO ブースター]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. [ ] メニューから ▲/▼ で[ISO ブースター]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で ISO ブースターの種類を選ぶ
2. (MENU) を押す

撮影する（[自動] のとき）

3 シャッターボタンを半押しする

・撮影時の明るさに応じて、手ぶれしにくい最適な感度に設定されます。

4 そのままシャッターボタンを全押しする

撮影する（[ボタン] のとき）

3 シャッターボタンを半押しする

・ が表示されると、 ボタンが青色に点灯します。

4 シャッターボタンを半押ししたまま を押す

・変更後の ISO 感度が表示されます。
・シャッターボタンを半押しした状態で、再度 ボタンを押すと、ISO 感度が元の設定に戻ります。
・ISO 感度が上がった後に AE ロック（p.95）をすると、シャッターボタンを放しても、ISO 感度は元の設定に戻りません。

5 そのままシャッターボタンを全押しする

露出を補正する

各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまう場合はプラス側に、夜景や背景が暗い場所での撮影で、被写体が明るくなってしまう場合にはマイナス側に露出を補正します。

1 露出を補正する

1. FUNC./SET を押す
2. ▲/▼で ±0 を選び、◀/▶ で補正する
3. FUNC./SET を押す

解除のしかた：補正値を「0」に戻す

動画のときは露出シフトの設定 / 解除ができます（p.86）。

測光方式を切り換える

各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

(評価測光アイコン)	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
(中央部重点平均測光アイコン)	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
(スポット測光アイコン)	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

1 測光方式を変更する

1. (FUNC./SET)を押す
2. ↑/↓で[測光]を選び、←/→で変更する
3. (FUNC./SET)を押す

長秒時撮影するときは、評価測光に固定されます。

シャッタースピードを遅くする（長秒時撮影）

→ 各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

暗い場所で被写体を明るくしたいときに、シャッタースピードを遅くして撮影します。

1 長秒時設定を選ぶ

1. (FUNC./SET)を押す
2. ↑/↓で[±0]を選ぶ
3. (DISP.)を押す

2 変更する

1. ←/→でシャッタースピードを変更する
2. (FUNC./SET)を押す

・数値が大きいほど、撮影される画像は明るくなります。
・このとき、DISP.ボタンを押すと、露出補正の設定画面に戻ります。

- 液晶モニターに表示される画像と、実際に撮影される画像の明るさは異なることがあります。
- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、シャッタースピードが 1.3 秒以上のときに、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- 意図した明るさで撮影されているかは、液晶モニターで確認してください。
- シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれしやすくなります。三脚を使って撮影してください。
- ストロボを発光すると、露出オーバーになることがあります。その場合はストロボを にして撮影してください。
- 長秒時撮影するときは、次の設定ができません。
  ・露出補正　・測光方式　・AE ロック
  ・FE ロック　・ISO 感度［オート］［高感度オート］
  ・ISO ブースター　・ストロボ［オート］　・スローシンクロ

色合いを調整する（ホワイトバランス）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

通常は、AWB（オート）で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWB で自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯

	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3波長型)の蛍光灯
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものを取り込んで、最適な白データとしてカメラに記憶させてから撮影できます。

1 ホワイトバランスを選ぶ

1. (FUNC./SET)を押す
2. ▲/▼で AWB を選び、◀/▶で変更する
3. (FUNC./SET)を押す

マイカラーが Se BW の場合、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを使うには

次のような場合、AWB (オート)では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、(マニュアル)で白データを取り込んでから撮影してください。
・至近距離(マクロ)で撮影するとき
・単一な色の被写体(空、海、森など)を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 を選ぶ

1. (FUNC./SET)を押す
2. ▲/▼で AWB を 選 び、◀/▶で を選ぶ

2 白い紙や布にカメラを向け、[DISP.] を押す

中央の枠いっぱいに、白い紙や布を表示させてください。ただし、デジタルズーム使用時や[T]が表示されているときは中央の枠は表示されません。

3 [FUNC./SET] を押す

- 撮影モードを[M]にし、露出補正を± 0 にすることをおすすめします。適正露出でない場合(真っ黒や真っ白)は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ: [ストロボ発光] または [ストロボ発光禁止] にしておくことをおすすめします。[ストロボ自動] で白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 取り込んだ白データは、電源を切っても保存されます。

マイカラーで撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

画像の印象を変えて撮影できます。

	マイカラー切	通常設定
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにします。
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにします。
	セピア	セピア色にします。
	白黒	白黒にします。
	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」・「あざやかグリーン」・「あざやかレッド」の効果を合わせたもので、青、緑、赤色をより鮮やかにします。ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
	色白肌*	人物の肌を色白にします。
	褐色肌*	人物の肌を褐色にします。
	あざやかブルー	青色を強調します。空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかグリーン	緑色を強調します。山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかレッド	赤色を強調します。赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さを設定したり、赤 / 緑 / 青 / 肌色*のバランスを変更して撮影します。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

*被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。また、肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

マイカラーを設定する（以外）

1 マイカラーを設定する

1. (FUNC. SET) を押す
2. ▲/▼で を選び、◀/▶ で変更する
3. (FUNC. SET) を押す

カスタムカラーモードを設定する（）

1 を選ぶ

1. (FUNC. SET) を押す
2. ▲/▼で を選び、◀/▶ で を選ぶ

2 調整する

1. (DISP.) を押す
2. ▲/▼で[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選ぶ
3. ◀/▶ で調整する

・調整結果が表示されます。
・DISP. ボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

3 (FUNC. SET) を押す

・設定を終了します。

色を変えて撮る

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

画像の色味を簡易的に変化させて撮影します。静止画だけでなく、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前に試し撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、[オリジナル保存]機能(p.111)を[入]にすれば、撮影した画像だけでなく、オリジナル画像(色を変える前の画像)も記録できます。

	ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは1色のみで、複数の色から選択はできません。

撮影シーンによっては、ISO感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

ワンポイントカラーモードで撮影する

1 ワンポイントカラーモードを選ぶ

静止画:

1. モードスイッチを に合わせる
2. を押す
3. ↑/↓で を選び、←/→ で を選ぶ
4. を押す

動画：

1. モードスイッチを 🎥 に合わせる
2. (FUNC./SET) を押す
3. ▲/▼で 🎞 を選び、◀/▶ で 🎨 を選ぶ
4. (FUNC./SET) を押す

2 DISP. を押す

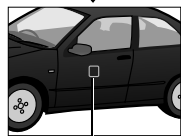
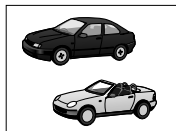
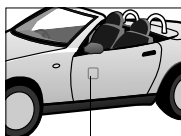
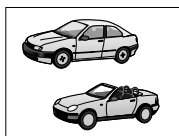
・色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像(前回設定した指定色が反映)が交互に表示されます。

3 液晶モニターの中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、◀を押す

・指定できるのは 1 色です。
・ ▲/▼で、残したい色の範囲を変更できます。
　-5 ：残したい色だけを取り込みます。
　+5 ：残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

4 DISP. で設定を終了し、撮影する

- 初期設定色は緑です。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーモードで撮影する

1 スイッチカラーモードを選ぶ

静止画：

1. モードスイッチを に合わせる
2. を押す
3. ↑/↓で を選び、←/→ で を選ぶ
4. を押す

動画：

1. モードスイッチを に合わせる
2. を押す
3. ↑/↓で を選び、←/→ で を選ぶ
4. を押す

2 DISP. を押す

・色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像(前回設定した指定色が反映)が交互に表示されます。

3 液晶モニターの中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、◆を押す

・指定できるのは 1 色です。
・▲/▼で、変えたい色の範囲を変更できます。
　－5 ：変えたい色だけを取り込みます。
　+5 ：変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

4 液晶モニターの中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、◆を押す

・指定できるのは 1 色です。

5 DISP. で設定を終了し、撮影する

- 初期設定色は、緑を白に変えて撮影するように設定されています。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。
- 撮影シーンによっては、ISO感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

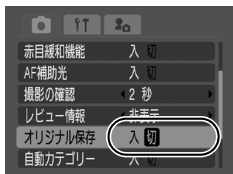
オリジナル画像の保存方法を変更する

ワンポイントカラー、スイッチカラーで静止画を撮影するときは、色を変えた画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録できます。

1 [オリジナル保存]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから ▲/▼で[オリジナル保存]を選ぶ

設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

[オリジナル保存]を[入]に設定した場合

- 撮影時に液晶モニターに表示される画像は、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで設定している画像だけです。
- 撮影直後、液晶モニターには、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで撮影した画像が表示されます。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
- 画像番号は連番になります。オリジナル画像が早い番号、ワンポイントカラーやスイッチカラーで撮影した画像が後の番号です。
- 1回の撮影で2画像記録されるため、液晶モニターに表示される記録可能画像数は、設定が[切]の場合の半分になります。

画像を自動で分類する（自動カテゴリー）

各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

自動カテゴリーを[入]にすると、撮影時、画像はあらかじめ用意されたカテゴリーに分類されます。

	人物	、、で撮影した画像、またはAFフレームで[顔優先]を選択し、顔が検知された画像
	風景	で撮影した画像
	イベント	、、、、、で撮影した画像

1 [自動カテゴリー]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから ▲/▼で[自動カテゴリー]を選ぶ

2 設定する

1. ◀/▶ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

動画は、自動で分類されませんが、マイカテゴリー（p.126）でカテゴリー分けができます。

ボタンに機能を登録する

各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

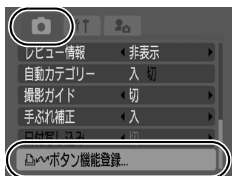
撮影時によく使う機能を、ボタンに1つだけ登録できます。登録できる機能は以下のとおりです。

項目	参照先
無効	–
露出補正	p.100
ホワイトバランス	p.102
マニュアル WB (ホワイトバランス)	p.103

項目	参照先
デジタルテレコン	p.67
撮影ガイド	p.115
動画	p.84
ディスプレイオフ	p.51
効果音*1	p.53

*1 マイカメラメニューの[シャッター音]のが登録されます。

1 [ボタン機能登録]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから ↑/↓ で[ボタン機能登録]を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 設定する

1. ←/→ で登録したい機能を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

- アイコンの右下に⃠が表示されていても、機能の登録はできますが、撮影モードまたは設定によっては、ボタンを押しても、お使いになれません。
- MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

解除のしかた:手順2 でを選ぶ

ボタンの使いかた

1 を押す

- と は、ボタンを押すたびに、設定が切り換わります。
- と は設定画面が表示されます。
- は、ボタンを押すたびに白データを取り込めます。
なお、このとき枠は表示されないので、白い紙や布を液晶モニターの中央になるように置いてから、ボタンを押してください。一度この機能を使うと、ホワイトバランスの設定はマニュアルホワイトバランスに変更されます。
- は、モードスイッチが 、SCN のときにボタンを押すと、スタンダードで設定した記録画素数とフレームレートで撮影を開始します。
- は、ボタンを押すと音が鳴るので、撮影直前に被写体の注意をカメラに向けたいときに便利です。

現在の撮影モードでお使いになれない機能が設定されている場合は、ボタンを押しても登録した機能を使うことはできません。

撮影ガイドを設定する

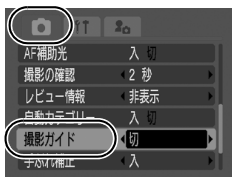
各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

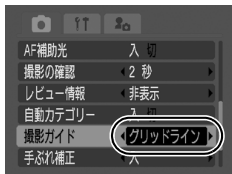
被写体の水平や垂直、縦横比 3:2 の印刷範囲を液晶モニターで確認しながら撮影できます。

切	−
グリッドライン	画面を 9 分割したラインを表示します。被写体の水平や垂直を確認できます。
3:2 ガイド	縦横比 3:2 で印刷できる範囲を確認できます*。印刷されない領域はグレーになります。
両方	グリッドラインと 3:2 ガイドの両方を同時に表示します。

*記録される画像の縦横比は、通常画面と同じ 4:3 となります。

1 [撮影ガイド]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [●] メニューから ↑/↓ で[撮影ガイド]を選ぶ

2 設定する

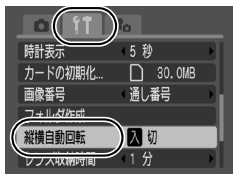
1. ←/→ で撮影ガイドの種類を選ぶ
2. MENU を押す

- グリッドラインや 3:2 ガイドは画像には記録されません。
- 、W 選択時や動画では、グリッドラインのみ設定できます。

縦横自動回転を設定する

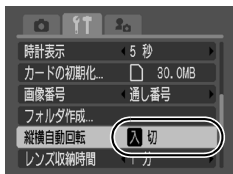
各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

このカメラには SI(Super Intelligent)センサーが装備されており、[入]に設定すると、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 [縦横自動回転]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で [] メニューを選ぶ
3. ↑/↓で[縦横自動回転]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で[入]または[切]を選ぶ
2. MENU を押す

・[入]のときは、液晶モニターに(情報表示ありのとき)、(通常)、(右が下)、または(左が下)が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン()を確認し、正しく天地を判断しない場合は、[切]にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が[入]のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。

画像の保存先（フォルダ）を作成する

各撮影モードで設定できる機能一覧（p.222）

任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します。

次回撮影時にフォルダを作成する

1 [フォルダ作成]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で [設定] メニューを選ぶ
3. ↑/↓で[フォルダ作成]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

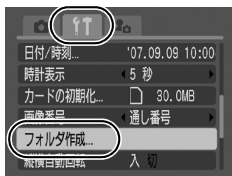
2 設定する

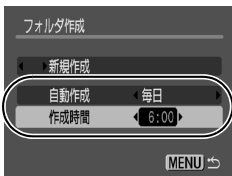
1. ←/→ で[新規作成]にチェックマークをつける
2. MENU を押す

・撮影時、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。
・再度 MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

指定した日時にフォルダを作成する

1 [フォルダ作成]を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓で[フォルダ作成]を選ぶ
4. FUNC. SET を押す

2 設定する

1. ↑/↓で[自動作成]を選び、←/→ で作成日を選ぶ
2. ↑/↓で[作成時間]を選び、←/→ で時刻を設定する
3. MENU を押す

・指定した日時になると、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。
・再度 MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

ひとつのフォルダに 2000 画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

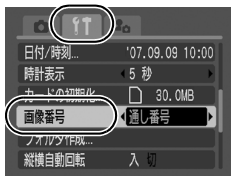
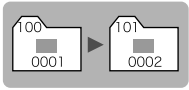
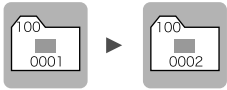
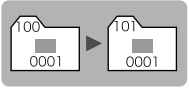
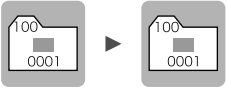
画像番号をリセットする

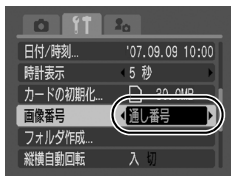
→ 各撮影モードで設定できる機能一覧(p.222)

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけれらます。そのため、フォルダを変更したり、カードを交換*したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。 *新規のカードに交換時。記録済みのカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた7桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号が初期値(100-0001)に戻ります*。 フォルダ単位で管理する場合に便利です。 *新規のカードに交換時。記録済みのカードを入れたときは、そのカードに記録されている画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号の続きの番号になります。

1 [画像番号]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓で[画像番号]を選ぶ

2 設定する

1. ←/→ で画像番号の種類を選ぶ
2. (MENU) を押す

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 ～ 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 ～ 999 までの番号が割り振られます。
ひとつのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

	フォルダを新規に作成した場合	他のカードに交換した場合
通し番号	カード 1 100 0001 ▶ 101 0002	カード 1 100 0001 ▶ カード 2 100 0002
オートリセット	カード 1 100 0001 ▶ 101 0001	カード 1 100 0001 ▶ カード 2 100 0001

- 次の設定で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、2000 画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
  - 連続撮影　－セルフタイマー(カスタムの場合)　－スティッチアシスト
  - 静止画のワンポイントカラー/スイッチカラー([オリジナル保存]が[入]の場合)
- 同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
- フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

タッチホイールでも画像の選択や各種操作が行えます。
p.41 をご確認ください。

拡大して見る

1 ズームレバーを側に押す

- 拡大表示になり、画面右上に SET が表示されます。
- 約 10 倍まで拡大して表示できます。

表示位置の目安

2 ▲/▼ または ◀/▶ で表示位置を変更する

- 拡大再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、画像送りモードになり、SET が表示されます。◀/▶ ボタンで拡大したまま、前または次の画像を表示できます。再度 FUNC./SET ボタンを押すと、画像送りモードを解除します。
- ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた:ズームレバーを側に押す(MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。)

動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9 画像ずつまとめて見る（インデックス再生）

1 ズームレバーを側に押す

・9 画像ずつ表示されます。
・▲/▼または◀/▶ボタンで選択画像を切り換えます。

解除のしかた：ズームレバーを Q側に押す

9 画像ずつ表示を切り換える

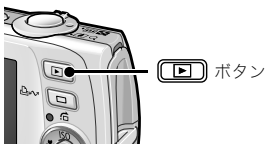
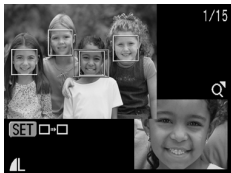
インデックス再生中にズームレバーを側に押すと、ジャンプバーが表示され、9 画像ずつ表示の切り換えができます。

・◀/▶ボタンで前または次の 9 画像を表示します。
・FUNC./SETボタンを押しながら◀/▶ボタンを押すと、最初または最後の 9 画像を表示します。

ピントや人物の表情を確認する（フォーカスチェッカー表示）

フォーカスチェッカー表示にすると、ピントや人物の表情が確認できます。また、表示倍率の変更や画像の切り換えもできるため、顔の表情や目を閉じていないかなどもかんたんに確認できます。

表示する

1 を押す

2 フォーカスチェッカー表示になるまで、DISP. を数回押す

・画像に枠が次のとおりに表示されます。

枠の色	内容
橙	右下に表示された画像の範囲を表示します。
白	ピントの合った位置に表示されます（AF フレーム）。
グレー	再生時に検出された顔の位置に表示されます（顔フレーム）。

・橙色の枠は、表示倍率の変更、表示位置の移動、表示フレームの切り換えができます（p.124）。

表示倍率を変更する

3 **ズームレバーを 側に押す**

・画面右下が大きく表示されます。

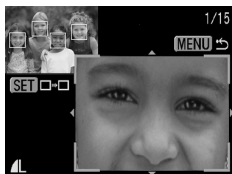
フレームを切り換える

を押す

・ピントの合った複数のフレームが表示されたときや、複数の顔が検出されたときは、FUNC./SET ボタンを押すごとに、橙色の枠の位置が切り換わります。なお、表示倍率を変更したまま、カメラが検出した顔位置にフレームを切り換えると、橙色の枠は顔のサイズになります。

表示位置を変更する

ズームレバーを 側に押す

・画面右下が大きく表示されます。

/または/で表示位置を変更する

・FUNC./SET ボタンを押すと、橙色の枠が元の位置に戻ります。複数のフレームが表示されている画像のときは、橙色の枠の位置が切り換わります。

解除のしかた： MENU ボタンを押す

目的の画像にジャンプする

カードにたくさんの画像を記録しているときは、次の検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	日付	各撮影日の先頭画像を表示します。
	マイカテゴリー	各カテゴリーの先頭画像を表示します。
	フォルダ	各フォルダの先頭画像を表示します。
	動画	動画を表示します。
	10 枚	10 枚先の画像を表示します。
	100 枚	100 枚先の画像を表示します。

1 シングル再生時に、を押す

・検索ジャンプモードになります。

2 ↑/↓で検索キーを選ぶ

・検索キーによって、画面例は若干異なります。
・DISP. ボタンで、画像情報の表示 / 非表示の切り換えができます。

画像情報

3 画像を表示する

、、のとき

1. ←/→ で再生したい日付、カテゴリー、フォルダを選ぶ

2. を押す

・タッチホイールを回すと、絞り込む対象の画像を確認できます。
・絞り込み再生モードに変わり、青い枠が表示されます。検索キーで指定した画像だけを再生できます。
・ ボタンを押すと、絞り込み再生モードを解除します。

絞り込む対象を選ぶ

、、のとき

1. ←/→ を押す

・MENU ボタンを押すと解除します。
・ のときは、FUNC./SET ボタンを押すと、絞り込み再生モードになります。 ボタンを押すと解除します。

以下のような操作を行うと、絞り込み再生モードが解除されます。
- 画像を範囲で指定するとき
- 絞り込み対象以外の画像を表示したとき
- 画像を加工や編集して、新規に保存したとき
- [ ]メニューの[消去]から、画像を消去したとき

カテゴリーに分けて管理する（マイカテゴリー）

画像を、あらかじめ用意されているカテゴリーに分類し、カテゴリー単位で管理することができます。カテゴリー分けすると、次の操作が行えます。
・画像検索(p.125)　・スライドショー(p.135)
・プロテクト(p.150)　・消去(p.154)　・印刷指定(p.159)

カテゴリーの種類

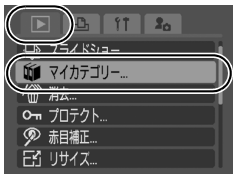
	人物
	風景
	イベント

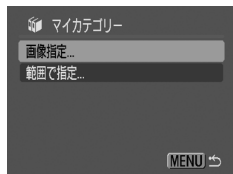
	マイカテゴリー1～3
	作業用

カテゴリーの指定方法

画像指定	画像を見ながら 1 画像ずつ指定します。
範囲で指定	始点の画像と終点の画像を指定し、その間のすべての画像に指定します。

1 [マイカテゴリー]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. [▶] メニューから ▲/▼ で 🗂 を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す

2 設定方法を選ぶ

1. ▲/▼で設定方法を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

[画像指定] のとき

3 分類する

1. ◀/▶ で分類する画像を選ぶ
2. ▲/▼ でカテゴリーの種類を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す

・再度FUNC./SETボタンを押すと設定を解除できます。
・MENU ボタンを押すと、設定を終了します。
・再生モードのとき 🖨〜 ボタンを押すと、すぐにこの画面を表示できます。

[範囲で指定] のとき

3 始点の画像を選ぶ

・タッチホイールを回すと、始点または終点の画像を切り換えることができます。

1. (FUNC. SET) を押す
2. ←/→で分類する範囲の始点の画像を選ぶ
3. (FUNC. SET) を押す

4 終点の画像を選ぶ

1. → で[終点選択]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

3. ←/→で分類したい範囲の終点の画像を選ぶ
4. (FUNC. SET) を押す

・終点の画像には、始点の画像より早い番号の画像は指定できません。
・500 画像まで指定できます。

5 カテゴリーの種類を選ぶ

1. ↓を押す
2. ←/→でカテゴリーの種類を選ぶ

6 設定する

1. ◆を押し、[設定]を選ぶ
2. (FUNC./SET)を押す

・設定方法を選ぶ画面に戻ります。
・[解除]を選ぶと、選択した範囲のカテゴリー分けを解除します。

インデックス再生にしても設定できます。

動画を見る（動画再生パネルの操作）

インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示する

1. ◆/◆で動画を選ぶ
2. (FUNC./SET)を押す

・ SET の表示されている画像が動画です。

2 再生する

1. ←/→ で ▶ を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

動画再生パネル

再生バー

撮影時刻表示

音量
（↑/↓ ボタンで調節）

- 再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。FUNC./SET ボタンを押すと、動画再生パネルが表示されます。

- 動画再生中に DISP. ボタンを押すと、再生位置を示す再生バーの表示 / 非表示の切り換えができます。
- 前回、再生を中断した場合は、最後に再生したフレームから表示されます。

再生パネルの操作

←/→ ボタンで選んで、FUNC./SET ボタンを押します。

	終了	シングル再生画面へ戻ります。
	印刷	プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。
	再生	再生します。
	スロー再生	スロー再生の速度は、← ボタンで遅く、→ ボタンで速くできます。
	先頭フレーム	先頭フレームへ移動します。
	フレーム戻し	FUNC./SET ボタンを押し続けると早戻しします。
	フレーム送り	FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします。
	最終フレーム	最終フレームを表示します。
	編集	編集モードに切り換えます。

- テレビで動画を再生するときは、テレビで音量を調節してください(p.168)
- スロー再生中や の再生中は、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部分を削除できます。

- 実際の編集位置は、編集時に液晶モニターで確認した位置と若干ずれる場合があります。
- 編集前の長さが 1 秒以上の動画を 1 秒単位で編集できますが、プロテクトされている動画、撮影時間が1秒（のときは 15 秒*または 30 秒**）未満の動画は編集できません。

*[撮影間隔]が 1 秒のとき、**[撮影間隔]が 2 秒のとき

1 [編集]を選ぶ

1. ←/→ で を選ぶ
2. を押す

・動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

動画編集パネル

動画編集バー

2 編集する

1. ↑/↓で （前部を削除）または （後部を削除）を選ぶ
2. ←/→ で削除する位置（）を指定する

・仮編集した動画を確認するときは、（再生）を選んで FUNC./SET ボタンを押します。
・引き続き編集したいときは、手順 2 を繰り返します。
・（終了）を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

3 [保存]を選ぶ

1. ↑/↓で を選ぶ
2. を押す

4 保存する

1. ←/→ で[新規保存]または[上書き保存]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・[新規保存]:新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中に FUNC./SET ボタンを押すと、保存を中止できます。
・[上書き保存]:編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
・カードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

編集した動画を保存するとき、ファイル容量によっては時間がかかる場合があります。途中でバッテリーがなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、フル充電のバッテリーあるいは AC アダプターキット ACK-DC30(別売)のご利用をおすすめします(p.196)。

回転して表示する

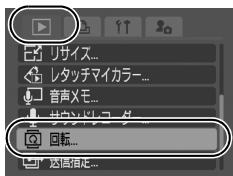
時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。

元画像

90 度

270 度

1 [回転]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ▲/▼で を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 回転する

1. ◀/▶ で回転する画像を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・FUNC./SET ボタンを押すごとに、90 度→ 270 度→元画像が表示されます。
・インデックス再生にしても設定できます。

カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

効果をつけて再生する

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
	表示中の画像が暗くなり､次の画像が徐々に明るく表示されます。
	◆ボタンを押すと左側から前の画像が､◆ボタンを押すと右側から次の画像が表示されます。

1 [再生効果]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [ ] メニューから ▲/▼で を選ぶ

2 設定する

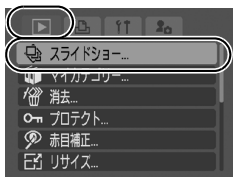
1. ◆/◆ で再生効果の種類を選ぶ
2. MENU を押す

画像を自動再生する（スライドショー）

カード内の画像を自動再生します。
スライドショーの画像指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

	全画像	カード内のすべての画像を順に再生します。
	日付	指定した日付の画像を順に再生します。
	マイカテゴリー	指定したカテゴリーの画像を順に再生します。
	フォルダ	指定したフォルダ内の画像を順に再生します。
	動画	動画のみを順に再生します。
	静止画	静止画のみを順に再生します。
～	カスタム1～カスタム3	カスタム1～3でマークされている画像を順に再生します（p.138）。

1 [スライドショー]選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ▲/▼で を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 再生方法を選ぶ

1. ▲を押す
2. ◀/▶ でスライドショーの種類を選ぶ

- 、、のとき：FUNC./SET ボタンを押して、再生する日付、カテゴリーまたはフォルダを選びます（p.137）。
- ～のとき：FUNC./SETボタンを押して、再生する画像を選びます（p.138）。
- 効果をつけて再生する場合は、▲ボタンで[効果]を選び、◀/▶ボタンで種類を選びます（p.136）。

開始する

1. ➡を押す
2. ⬅/➡ で[スタート]を選ぶ
3. (FUNC. SET) を押す

・自動再生中は、次のことができます。
- 一時停止 / 再開：FUNC./SET ボタンを押す
- 画像の送り / 戻し：⬅/➡ ボタンを押す（ボタンを押し続けると早送りします。）

中止のしかた：MENU ボタンを押す

効果の種類

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
	次の画像が徐々に明るくなりながら、画面の下から上方向に表示されます。
	初めに十字型に画像が表示され、徐々に画像全体が表示されます。
	画像の一部が横方向に動きながら、徐々に画像全体が表示されます。

シングル再生時、FUNC./SET ボタンを押しながら 🖨 ボタンを押すと、表示中の画像からスライドショーを開始できます。なお、最後に撮影した画像を表示中のときは、その画像と同じ日付の先頭の画像から開始されます。

再生する日付、マイカテゴリー、フォルダを選ぶ（、、）

1 再生方法を選ぶ

1. ←/→ で、または を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

2 再生する画像を選ぶ

1. ↑/↓ で日付、カテゴリーまたはフォルダを選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・選択されると、画像に ✓ が表示されます。
・再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
・日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
・選択した順に再生されます。
・←/→ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。
・MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

再生する画像を選ぶ（★1〜★3）

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、[カスタム 1]から[カスタム 3]に保存します。最大 998 画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。

1 再生方法を選ぶ

1. ←/→ で★1〜★3のいずれかを選ぶ
・初めは、★1だけが表示されます。

2. を押す

・★1を設定すると、表示が★1√に変わり、★2が表示されます。★2 ★3も、同じように表示が変わっていきます。

2 再生する画像を選ぶ

1. ←/→ で再生する画像を選ぶ

2. FUNC./SET で選択または選択を解除する

・インデックス再生にしても選択できます。
・MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

すべての画像を指定するとき

1. 手順 1 で、★1〜★3のいずれかを選んだ後、↑ボタンで[全画像]を選び、FUNC./SET ボタンを押す
2. ↑ボタンで[全画像指定]を選び、FUNC./SET ボタンを押す
3. → ボタンで[OK]を選び、FUNC./SET ボタンを押す

設定後に解除する場合には、[リセット]を選びます。

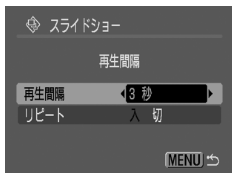
再生間隔やリピート設定をする

- **再生間隔**
  スライドショーで 1 画像を表示する時間を指定します。3 〜 10 秒、15 秒、30 秒を指定できます(画像によって再生間隔は多少異なります)。
- **リピート**
  スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。

1 [設定]を選ぶ

1. ←/→ で[設定]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

2 設定内容を変更する

1. ↑/↓で[再生間隔]または[リピート]を選ぶ
2. ←/→ で設定したい内容を選ぶ
3. (MENU) を押す

赤目を補正する

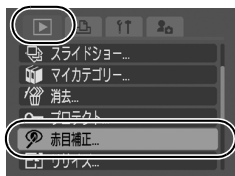
目が赤く写ってしまった画像の赤目の部分を補正できます。

画像によっては赤目が自動的に検出されなかったり、思い通りに補正されない場合があります。

＜主な例＞

- 顔が画面の端にある、または画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

1 [赤目補正]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ↑/↓ で 赤目補正 を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

2 画像を選ぶ

1. ←/→ で赤目を補正する画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・赤目を検出した位置に自動的に枠が表示されます。
・赤目が自動的に検出されなかった場合は、←/→ ボタンで[補正枠の追加]を選び、FUNC./SET ボタンを押します(p.142)。
・補正枠を削除するには、[補正枠の削除]を選び、FUNC./SET ボタンを押します(p.143)。

3 補正する

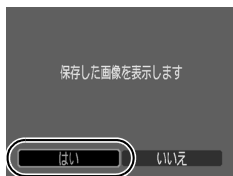
1. ←/→ で[補正実行]を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

4 保存する

1. ←/→ で[新規保存]または[上書き保存]を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

・[新規保存]:新しいファイル名をつけて保存します。補正前の画像は残ります。新規に保存された画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
・[上書き保存]:補正前の画像と同じファイル名で保存されます。補正前の画像は残りません。
・[新規保存]の場合は、手順 5 へ進みます。

5 保存した画像を表示する

1. MENU を押す
2. ←/→ で[はい]を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

・[いいえ]を選んだ場合は、再生メニューに戻ります。

- 動画は赤目補正できません。
- プロテクトされている画像は、上書き保存できません。

- カードの空き容量が足りないときは、赤目補正はできません。
- 何度でも赤目補正を行うことができますが、画質が低下することがあります。
- 一度赤目補正を行った画像は、自動的に補正枠は表示されません。[補正枠の追加]を選択してください。

補正枠を追加する

1 [補正枠の追加]を選ぶ

1. ←/→ で[補正枠の追加]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・補正枠が緑色で表示されます。

2 補正枠の位置を調整する

1. ←/→ または ↑/↓ で調整する

・ズームレバーで枠の大きさを変更できます。

3 補正枠を追加する

1. (FUNC./SET) を押す

・補正枠が追加され、枠が白色に変わります。
・さらに枠を追加したいときは、位置を調整してFUNC./SETボタンを押します。
・枠は 35 個まで追加できます。
・補正枠の追加を終了するには、MENU ボタンを押します。

赤目を正しく補正するために、以下の点にご注意ください(手順 2 の画面例を参照)。

- なるべく赤目の部分だけを囲むように補正枠の大きさを調整してください。
- 赤目の人が複数いる場合、必ず1人ずつ補正枠を設定してください。

補正枠を削除する

1 [補正枠の削除]を選ぶ

1. ←/→ で[補正枠の削除]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

2 削除する補正枠を選ぶ

1. ←/→ で削除したい枠を選ぶ

・選択中の枠が緑色で表示されます。

3 補正枠を削除する

1. (FUNC. SET) を押す

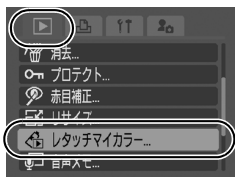
・選択した枠が削除されます。
・さらに枠を削除したいときは、手順 2 から操作を繰り返します。
・補正枠の削除を終了するには、MENU ボタンを押します。

レタッチマイカラーで効果をつける

撮影した画像に、レタッチマイカラーで効果をつけることができます(静止画のみ)。レタッチマイカラーの種類は次のとおりです。効果の詳細は p.105 をご覧ください。

	くっきりカラー		色白肌
	すっきりカラー		褐色肌
	セピア		あざやかブルー
	白黒		あざやかグリーン
	ポジフィルムカラー		あざやかレッド

1 [レタッチマイカラー]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ▲/▼で を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

2 画像を選ぶ

1. ◀/▶ で画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

3 レタッチマイカラーの種類を選ぶ

1. ◀/▶ でレタッチマイカラーの種類を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・レタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示されます。
・ズームレバーを Q側に押すと、拡大して確認できます。拡大表示中は、FUNC./SET ボタンでレタッチマイカラーで効果をつけた画像と効果がついていない元画像の切り換えができます。

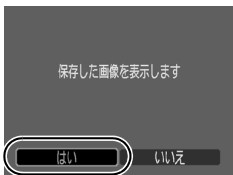
4 保存する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・レタッチマイカラーで効果をつけた画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
・引き続き他の画像に効果をつけたいときは、手順 2 から操作を繰り返します。

5 保存した画像を表示する

1. (MENU) を押す
2. ←/→ で[はい]を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す

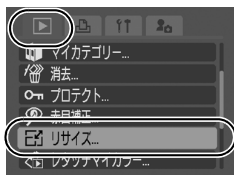
・[いいえ]を選んだ場合は、再生メニューに戻ります。

- カードの空き容量が足りないときは、レタッチマイカラーで効果をつけることができません。
- レタッチマイカラーで効果をつけた画像に、何度でもレタッチマイカラーで効果をつけることができますが、画質は徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- 同じ効果でも、マイカラーで撮影した画像(p.105)と、再生時にレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、画像の色味が若干異なる場合があります。

画像の記録画素数を変更する（リサイズ）

大きな記録画素数で撮影した画像を、小さな記録画素数で新規保存できます。

M3	1600 × 1200 画素
S	640 × 480 画素
XS	320 × 240 画素

1 [リサイズ]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ▲/▼で を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

2 画像を選ぶ

1. ◀/▶ でリサイズしたい画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・リサイズできない画像は、FUNC./SET ボタンを選択できません。

3 記録画素数を選ぶ

1. ◀/▶ で記録画素数を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・カードの空き容量によっては、選択できない記録画素数があります。

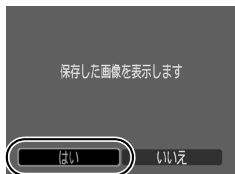
4 保存する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・リサイズした画像が新規に保存されます。
・引き続き他の画像をリサイズしたいときは、手順2から操作を繰り返します。

5 保存した画像を表示する

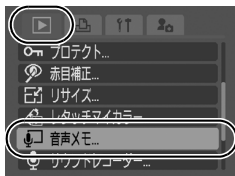
1. (MENU) を押す
2. ←/→ で[はい]を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す

・[いいえ]を選んだ場合は、再生メニューに戻ります。

動画または W で撮影した画像はリサイズできません。

音声メモをつける

画像の再生中に、最長 1 分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプで保存されます。

1 [音声メモ]を選ぶ

1. (MENU) を押す
2. [▶] メニューから ↑/↓で 🎤 を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す

2 画像を選ぶ

1. ←/→ で音声メモをつける画像を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・音声メモパネルが表示されます。

3 録音する

音量
（↑/↓ ボタンで調節）

1. ←/→ で ● を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・録音時間と録音可能時間が表示されます。
・FUNC./SETボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
・1 画像につき、合計が 1 分に達するまで音声メモを追加できます。

音声メモパネルの操作

←/→ ボタンで選んで、FUNC./SET ボタンを押します。

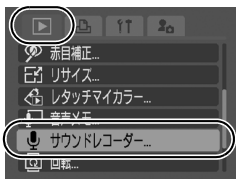
	終了	操作を終了します。
●	録音	録音を開始します。
■	停止	録音、再生を停止します。
▶	再生	再生します。
	消去	消去します。

- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

音声だけを記録する（サウンドレコーダー）

画像を記録せず、音声だけを最長約 2 時間連続して録音できます。

1 [サウンドレコーダー]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ▲/▼ で 🎙 を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 録音する

1. ◀/▶ で ● を選ぶ
2. FUNC. SET を押す

- 録音時間が表示されます。
- ▲/▼ボタンでサンプルレートを変更できます。[11.025kHz]、[22.050kHz]、[44.100kHz]の順に音質は良くなりますが、記録されるファイル容量は大きくなります。
- FUNC./SETボタンを押すと録音を停止します。再度ボタンを押すと新しく録音が開始されます。

サンプルレート

音声操作パネル

録音可能時間

音声操作パネルの操作

◀/▶ ボタンで選んで、FUNC./SET ボタンを押します。

↩	終了	メニュー画面へ戻ります。
●	録音	録音を開始します。
■	停止	録音、再生を停止します。
▶	再生	▲/▼ボタンで再生したい音声を選び、FUNC./SETボタンを押します。
◀◀	早戻し	FUNC./SET ボタンを押し続けると早戻しします。音声は再生されません。
▶▶	早送り	FUNC./SET ボタンを押し続けると早送りします。音声は再生されません。

	消去	[消去]または[全消去]を選び、FUNC./SET ボタンを押します。
	プロテクト	誤って消去しないように、プロテクト(保護)します。↑/↓ボタンで音声を選び、FUNC./SET ボタンで設定、設定解除します。
	音量	↑/↓ボタンで再生音量を調節します。

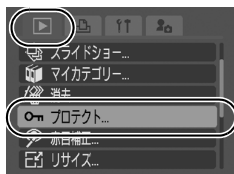
- サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間(目安)(p.207)
- カードの容量がいっぱいになった時点で自動的に録音を終了します。

画像をプロテクト（保護）する

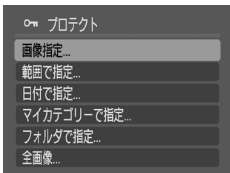
大切な画像や動画を誤って消去しないように、以下の項目でプロテクトの設定ができます。

画像指定	画像を見ながら 1 画像ずつ指定します。
範囲で指定	始点の画像と終点の画像を指定し、その間のすべての画像に指定します。
日付で指定	指定した日付の画像に指定します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内の画像に指定します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像に指定します。
全画像	カード内のすべての画像に指定します。

1 [プロテクト]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ↑/↓ で O┳ を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 設定方法を選ぶ

1. ↑/↓で設定方法を選ぶ
・MENU ボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

2. (FUNC./SET) を押す

[画像指定］のとき

3 プロテクトする

1. ←/→でプロテクトしたい画像を選ぶ

2. (FUNC./SET) を押す

・再度FUNC./SETボタンを押すとプロテクトを解除できます。
・引き続き他の画像をプロテクトしたいときは、操作を繰り返します。
・MENU ボタンを押すと、設定を終了します。

プロテクトマーク

[範囲で指定］のとき

3 始点の画像を選ぶ

・タッチホイールを回すと、始点または終点の画像を切り換えることができます。

1. (FUNC./SET) を押す

2. ←/→でプロテクトしたい範囲の始点の画像を選ぶ

3. (FUNC./SET) を押す

4 終点の画像を選ぶ

1. ➡ で[終点選択]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
3. ⬅/➡ でプロテクトしたい範囲の終点の画像を選ぶ

4. (FUNC./SET) を押す

・終点の画像には、始点の画像より早い番号の画像は指定できません。
・500 画像まで指定できます。

5 プロテクトする

1. ⬇ で[プロテクト]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・設定方法を選ぶ画面に戻ります。
・[解除]を選ぶと、選択した範囲のプロテクトを解除します。

[日付で指定]、[マイカテゴリーで指定]、[フォルダで指定] のとき

3 画像を選ぶ

1. ⬆/⬇ でプロテクトしたい日付、カテゴリーまたはフォルダを選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・選択されると、画像に ✓ がつきます。
・再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
・日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
・⬅/➡ ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

3. (MENU) を押す

4 プロテクトする

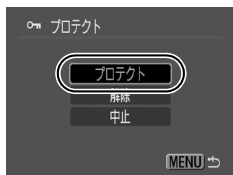
1. ↑/↓で[プロテクト]を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・設定方法を選ぶ画面に戻ります。
・[解除]を選ぶと、選択した画像のプロテクトを解除します。
・[中止]を選ぶと、プロテクトの設定を中止します。

[全画像]のとき

プロテクトする

1. ↑/↓で[プロテクト]を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・設定方法を選ぶ画面に戻ります。
・[解除]を選ぶと、全画像のプロテクトを解除します。
・[中止]を選ぶと、プロテクトの設定を中止します。

インデックス再生にしても設定できます。

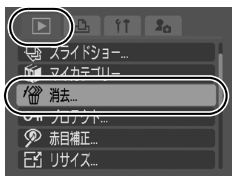
画像を消去する

カード内の画像を消去します。

画像指定	1 画像ずつ選択した後にまとめて消去します。
範囲で指定	始点の画像と終点の画像を指定し、その間のすべての画像を消去します。
日付で指定	指定した日付の画像を消去します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内の画像を消去します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像を消去します。
全画像	カード内のすべての画像を消去します。

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 [消去]選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ↑/↓で 🗑 を選ぶ
3. FUNC. SET を押す

2 消去方法を選ぶ

1. ↑/↓で消去方法を選ぶ
・MENUボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

2. FUNC. SET を押す

［画像指定］のとき

3 画像を選ぶ

1. ←/→で削除したい画像を選ぶ
2. (FUNC./SET)を押す
・再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
3. (MENU)を押す

4 消去する

1. ←/→で[OK]を選ぶ
2. (FUNC./SET)を押す
・[中止]を選ぶと、消去画像の選択を取り消し、手順2に戻ります。

［範囲で指定］のとき

3 始点の画像を選ぶ

・タッチホイールを回すと、始点または終点の画像を切り換えることができます。

1. (FUNC./SET)を押す
2. ←/→で削除したい範囲の始点の画像を選ぶ
3. (FUNC./SET)を押す

4 終点の画像を選ぶ

1. ➡ で[終点選択]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す
3. ⬅/➡ で削除したい範囲の終点の画像を選ぶ

4. (FUNC./SET) を押す

・終点の画像には、始点の画像より早い番号の画像は指定できません。
・500 画像まで指定できます。

5 消去する

1. ⬇ で[消去]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・MENU ボタンを押すと、消去画像の選択を取り消し、手順 2 に戻ります。

[日付で指定]、[マイカテゴリーで指定]、[フォルダで指定] のとき

3 画像を選ぶ

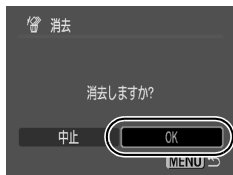
1. ⬆/⬇ で消去したい日付、カテゴリーまたはフォルダを選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・選択されると、画像に ✓ がつきます。
・再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
・日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
・⬅/➡ ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

3. (MENU) を押す

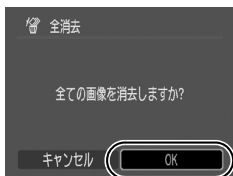
4 **消去する**

1. ←/→で[OK]を選ぶ
2. を押す

・[中止]を選ぶと、消去画像の選択を取り消し、手順 2 に戻ります。

[全画像] のとき

3 **消去する**

1. ←/→で[OK]を選ぶ
2. (FUNC./SET)を押す

・[キャンセル]を選ぶと操作を取り消し、手順 2 に戻ります。
・消去中に FUNC./SET ボタンを押すと、中止できます。

- インデックス再生にしても設定できます。
- 画像データだけでなく、カードの記録内容をすべて消去したいときは、カードを初期化してください(p.63)。

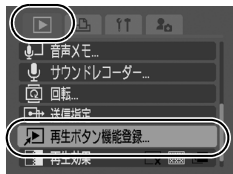
再生ボタンに機能を登録する

よく使う機能を、▶ボタンに1つだけ登録できます。登録できる機能は以下のとおりです。

	項目	参照先
▶	標準*1	–
⧉	スライドショー*2	p.135
🎙	サウンドレコーダー	p.149

*1 初期設定(電源切 / 再生モード / 撮影モードの切り換えができます(p.43)。)
*2 インデックス再生時は、スライドショーを開始できません。

1 [再生ボタン機能登録]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ▲/▼で▶を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

2 設定する

1. ◀/▶ で登録したい機能を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

解除のしかた:手順2で▶を選ぶ

▶ボタンを使う

1 再生モード時、▶を押す

・登録した機能が呼び出されます。

- 撮影モード時に▶ボタンを押すと、再生モードに切り換わります。再度▶ボタンを押して登録した機能を呼び出します。
- 機能を登録すると、▶ボタンで電源を切ることはできません。

印刷指定 / 送信指定する

タッチホイールでも画像の選択や各種操作が行えます。
p.41 をご確認ください。

印刷指定（DPOF）

カードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。この指定は、DPOF に準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターで一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたカードの場合、▲ が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

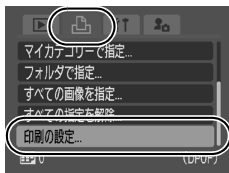
印刷スタイルを設定する

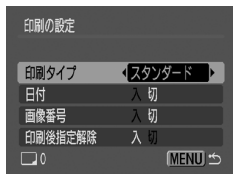
印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。

＊初期設定

印刷タイプ	スタンダード＊	用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付(入 / 切＊)		日付を入れて印刷します。
画像番号(入 / 切＊)		画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除(入＊ / 切)		印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

1 [印刷の設定]を選ぶ

1. (▶) を押す
2. (MENU) を押す
3. ←/→ で [凸] メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で[印刷の設定]を選ぶ
5. (FUNC. SET) を押す

設定する

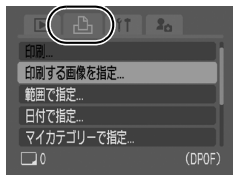
1. ↑/↓で設定項目を選ぶ
2. ←/→で設定したい内容を選ぶ

- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - [インデックス]のとき
    [日付]と[画像番号]を同時に設定できません。
  - [スタンダード]または[両方]のとき
    [日付]と[画像番号]を同時に[入]に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- 2枚以上印刷したいとき
  1. [印刷の設定]の[印刷タイプ]を[スタンダード]または[両方]に設定する
  2. [印刷する画像を指定]を選び、印刷したい画像を選んでから FUNC./SET ボタンを押す
  3. ↑/↓ボタンで印刷部数を設定する
- (L判プリント)で日付を写し込んだ画像(p.75)は、[日付]の設定にかかわらず、日付が印刷されます。そのため、[日付]を[入]に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷される場合があります。
- 日付は、[日付 / 時刻]で設定した日付スタイルで印刷されます(p.12)。

印刷指定の方法を選ぶ

印刷する画像を指定	画像を見ながら 1 画像ずつ印刷指定します。
範囲で指定	始点の画像と終点の画像を指定し、その間のすべての画像に印刷指定します。
日付で指定	指定した日付の画像を印刷指定します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリーの画像を印刷指定します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像を印刷指定します。
すべての画像を指定	すべての画像に対して印刷指定します。
すべての指定を解除	画像の印刷指定をすべて解除します。

指定した画像に対して、1 枚ずつ印刷指定されます。[印刷する画像を指定]で印刷タイプ(p.159)が[スタンダード]/[両方]の場合のみ、印刷枚数を指定できます。

1 指定方法を選ぶ

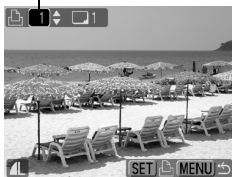
1. [▶] を押す
2. (MENU) を押す
3. ←/→ で [印刷] メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で指定方法を選ぶ
5. (FUNC./SET) を押す

［印刷する画像を指定］のとき

2 画像を選ぶ

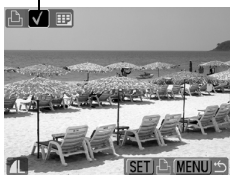
印刷タイプの設定（p.159）によって異なります。

スタンダード(■)/両方(■ ▦)のとき

印刷枚数表示

1. ←/→で画像を選ぶ
2. (FUNC. SET)を押す
3. ↑/↓で印刷枚数を指定する(最大99枚まで)
4. (MENU) を押す

インデックス(▦)のとき

インデックス印刷の選択

1. ←/→で画像を選ぶ
2. (FUNC. SET)で指定、指定解除をする
3. (MENU) を押す

・インデックス再生にしても設定できます。

［範囲で指定］のとき

2 始点の画像を選ぶ

・タッチホイールを回すと、始点または終点の画像を切り換えることができます。

1. (FUNC./SET) を押す
2. ←/→で印刷したい範囲の始点の画像を選ぶ
3. (FUNC./SET) を押す

3 終点の画像を選ぶ

1. → で[終点選択]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

3. ←/→で印刷したい範囲の終点の画像を選ぶ
4. (FUNC./SET) を押す

・終点の画像には、始点の画像より早い番号の画像は指定できません。
・500 画像まで指定できます。

4 印刷指定する

1. ↓で[画像指定]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

・指定方法を選ぶ画面に戻ります。
・MENU ボタンを押すと、選択した範囲の印刷指定を取り消します。

[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]のとき

2 画像を選ぶ

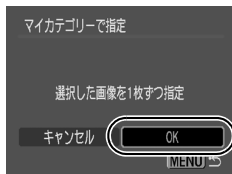
1. ▲/▼ で日付、カテゴリーまたはフォルダを選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・選択されると ✓ がつきます。
・再度FUNC./SETボタンを押すと指定を解除できます。
・日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
・◀/▶ボタンを押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

3. (MENU) を押す

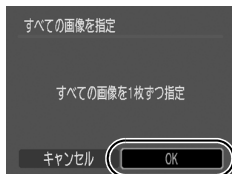
3 印刷指定する

1. ◀/▶ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・指定方法を選ぶ画面に戻ります。
・[キャンセル]を選ぶと印刷指定の選択を取り消します。

[すべての画像を指定]のとき

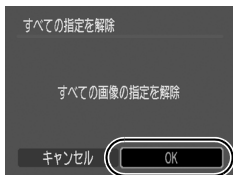
2 印刷指定する

1. ◀/▶ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC. SET) を押す

・指定方法を選ぶ画面に戻ります。
・[キャンセル]を選ぶと印刷指定の選択を取り消します。

［すべての指定を解除］のとき

2 **解除する**

1. ←/→で[OK]を選ぶ
2. (FUNC./SET)を押す

・指定方法を選ぶ画面に戻ります。
・[キャンセル]を選ぶと操作を取り消します。

- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は印刷指定できません。

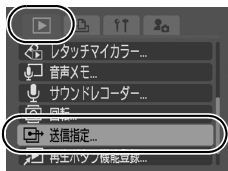
- 画像番号の順に印刷されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。
- プリンターに接続している場合、画像が指定されると ボタンが青色に点灯します。このとき、以下の操作で印刷が開始されます。
  1. ボタンを押す
  2. [印刷]が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押す

送信指定（DPOF）

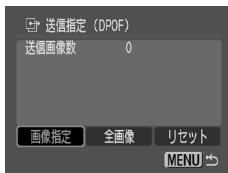
パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたカードの場合、⚠ が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 [送信指定]を選ぶ

1. MENU を押す
2. [▶] メニューから ↑/↓ で を選ぶ
3. FUNC./SET を押す

2 指定方法を選ぶ

1. ←/→ で指定方法を選ぶ
2. FUNC./SET を押す

・[リセット]を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

[画像指定]のとき

3 画像を選ぶ

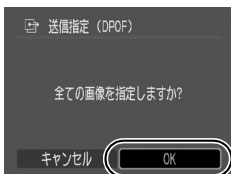
1. ←/→ で送信する画像を選ぶ
2. を押す

・再度FUNC./SETボタンを押すと選択を解除できます。
・インデックス再生にしても設定できます。

3. (MENU) を押す

[全画像]のとき

3 実行する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC./SET) を押す

- 画像番号の順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

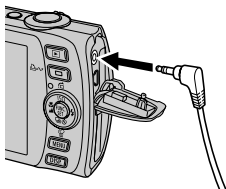
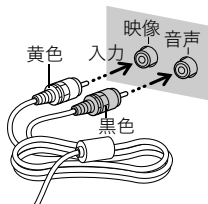
テレビにつなぐ

テレビを使って撮影 / 再生する

付属の AV ケーブルをお使いいただくと、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。ビデオ出力方式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラの A/V OUT 端子に AV ケーブルを接続する

- 端子カバーは爪やリストストラップの止め具を上端にかけて開き、AV ケーブルを奥まで差し込みます。

3 テレビの映像入力端子と音声入力端子に AV ケーブルを接続する

4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

5 カメラの電源を入れる

ビデオ出力方式の設定方法（p.52）

カメラを自分好みにする（マイカメラ機能）

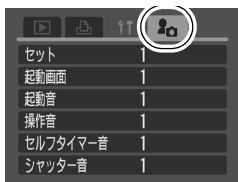
タッチホイールでも画像の選択や各種操作が行えます。
p.41 をご確認ください。

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。これらを変更したり登録して、カメラを自分好みの設定に変えることができます。

マイカメラコンテンツを変更する

1 メニュー項目を選ぶ

1. MENU を押す
2. ←/→ で [ ] メニューを選ぶ
3. ↑/↓ でメニュー項目を選ぶ

セット 1
起動画面 1
起動音 1
操作音 1
セルフタイマー音 1
シャッター音 1

2 設定する

1. ←/→ で設定したいコンテンツを選ぶ
2. MENU を押す

・すべて同じコンテンツに設定したいときは、[セット]を選びます。

マイカメラコンテンツを登録する

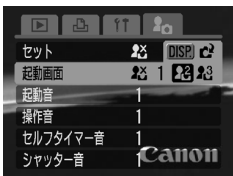
各コンテンツの[2][3]には、カードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/ImageBrowser）を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

1 メニュー項目を選ぶ

1. ▶ を押す
2. MENU を押す
3. ←/→ で [マイカメラ] メニューを選ぶ
4. ↑/↓ で登録したいメニュー項目を選ぶ

2 登録先を選ぶ

1. ←/→ で 2 または 3 を選ぶ
2. DISP. を押す

3 設定する

[起動画面]のとき

1. ←/→ で登録したい画像を選ぶ
2. (FUNC/SET) を押す

[起動音]、[操作音]、[セルフタイマー音]、[シャッター音]のとき

1. ←/→ で ●(録音)を選ぶ
2. (FUNC/SET) を押す
3. 録音後、←/→ で (登録)を選ぶ
4. (FUNC/SET) を押す

・録音時間が経過すると、自動的に録音が終了します。
・再生するときは、▶(再生)を選びます。
・マイカメラメニューに戻るときは、(終了)を選びます。

4 登録する

1. ←/→ で[OK]を選ぶ
2. (FUNC/SET) を押す

・登録を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。

- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - 動画
  - 音声メモ機能（p.147）で録音した音声
  - サウンドレコーダー（p.149）で録音した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	● 電源スイッチを押してください(p.14)。
メモリーカードスロット / バッテリーカバーが開いています。	● カバーがしっかりと閉じていることを確認してください(p.10)。
バッテリーの残量が少なく、動作不能です(「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます)。	● 十分に充電されたバッテリーをカメラに入れてください(p.8)。 ● AC アダプターキット ACK-DC30(別売)を使用してください(p.196)。
カメラとバッテリーの接触不良です。	● バッテリーの電極を先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください(p.191)。

カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	● カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された	
SDメモリーカード、SDHCメモリーカードの「ライトプロテクト(書き込み禁止)」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	● 書き込み、消去、初期化したいときは、ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください(p.194)。

日付 / 時刻の設定画面が表示された	
内蔵のリチウム充電池の容量がなくなっています。	● ただちに充電してください(p.13)。

液晶モニター

表示されない

[節電]の[ディスプレイオフ]の設定が働いています。

撮影中に液晶モニターが消える

で撮影中は、[節電]の[ディスプレイオフ]の設定に応じて節電機能が働きます。

カメラの起動時に画面が黒くなる	
マイカメラ機能の起動画面に、互換性のない画像が設定されています。	● マイカメラ機能で起動画面を変更するか(p.171)、付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って初期設定に戻します。詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド(PDF)をご覧ください。

表示が黒くなる	
太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	● これはCCD特有の現象で、カメラの故障ではありません(動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません)。

画面がちらつく

蛍光灯の下で撮影しています。	●カメラの故障ではありません(動画には記録されますが、静止画には記録されません)。

赤紫などの帯が表示された

太陽や照明などの明るい被写体を撮影するときに表示されることがあります。	●これはCCD特有の現象で、カメラの故障ではありません(動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません)。

が表示された

光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	●手ぶれ補正を[切]以外に設定してください(p.76)。 ●ISO 感度を上げてください(p.97)。 ●ISO ブースターを[切]以外に設定してください(p.98)。 ●ストロボを (発光禁止)以外に設定してください(p.68)。 ●セルフタイマーを設定し(p.70)、三脚などでカメラを固定して撮影してください。

が表示された

DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定されたカードです。	●このカメラでそれらの印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を変更すると、設定内容は、すべて書き換えられますので、ご注意ください(p.135、p.159)。

ノイズが表示される / 被写体の動きがぎこちない

暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました(p.59)。	●記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
ストロボが充電中です。	●充電が完了するとランプが橙色に点灯し、撮影できます(p.45)。
カードの空き容量がありません。	●新しいカードを入れてください(p.9)。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
カードが正しく初期化されていません。	●カードを初期化してください(p.63)。 ●カードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。お客様相談センターにお問い合わせください。
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト(書き込み禁止)されています。	●ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください(p.194)。
画像がぼやけている、ピントが合いにくい	
シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●「 が表示された」(p.174)でご確認ください。
AF 補助光が [切] になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF 補助光が光ってピントを合いやすくします。AF 補助光が[切]だと機能しないので、[入]にして、AF 補助光を発光させてください(p.49)。このとき、AF 補助光投光部に手がかからないように注意してください。

被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください(p.201)。 ●意図しない機能(例えばマクロなど)が設定されている可能性がありますので、設定を解除してください。
ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロック、AFロックで撮影してください(p.94)。

撮影した画像の被写体が暗すぎる

撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを(常時発光)にしてください(p.68)。
周辺部が明るすぎるため、狙った被写体の露出がアンダー(露出不足)になっています。	●露出補正値をプラス側に設定してください(p.100)。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください(p.95、p.100)。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ調光範囲内に被写体を収めて撮影してください(p.202)。 ●ISO 感度を上げて撮影してください(p.97)。

撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする

被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ調光範囲内に被写体を収めて撮影してください(p.202)。
周辺部が暗すぎるため、狙った被写体の露出がオーバー(露出過多)になっています。	●露出補正値をマイナス側に設定してください(p.100)。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください(p.95、p.100)。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが(常時発光)になっています。	●ストロボを(発光禁止)にしてください(p.68)。

画像にノイズがある	
ISO 感度が高すぎます。	●高い ISO 感度や (高感度オート)を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先する場合には、なるべく低い感度を選んでください(p.97)。 ● 、 、 、 、 、 、 は、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。

画像に白い点などが写る	
ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側で撮影したときに、目立ちやすくなります。	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る	
暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目に反射しました。	●[赤目緩和機能]を[入]に設定して撮影してください(p.82)。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。ただし、赤目緩和ランプが点灯するときに、効果を高めるため、約 1 秒間シャッターは切れませんのでご注意ください。 ●赤目で撮影された画像は、[赤目補正]で修正できます(p.140)。

連続撮影速度が遅くなった	
カードの性能が低下しました。	●連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラで カードを物理フォーマットすることをおすすめします(p.63)。

カードへの画像の記録時間が長い	
違う機器で初期化したカードが入っています。	●このカメラで初期化したカードをお使いください(p.63)。

レンズが出たままで収納されない	
電源を入れたまま、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開けました。	●メモリーカードスロット / バッテリーカバーを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される	
以下のようなカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影 / 消去を繰り返した	●撮影時間が正しく表示されないときも、カードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。カードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます(書き込み速度の遅いカードを除く)(p.63)。

液晶モニターに「！」が赤く表示され、撮影が自動的に終了した	
カメラの内部メモリーが少なくなりました。	● 以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にカードを物理フォーマットする(p.63) - 記録画素数を小さくする(p.72) - 高速のカード(SDC-512MSH など)を使用する

ズームできない	
動画撮影中にズームレバーを押しました。	● 撮影前にズームを操作してから、動画を撮影してください(p.64)。ただし、デジタルズームは撮影中もお使いになれます(スタンダードのみ)(p.65)。

再生のとき

再生できない	
他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	● 付属の ZoomBrowser EX や Image Browser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。 詳細は、ZoomBrowser EX / Image Browser のソフトウェアガイド(PDF)をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	● ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください。詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

動画を編集できない

他のカメラで撮影した動画は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

大きな記録画素数で撮影した動画を、読み込み速度の遅いカードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

カードからの画像の読み出しが遅い

違う機器で初期化したカードが入っています。	●このカメラで初期化したカードをお使いください（p.63）。

バッテリー/バッテリーチャージャー

バッテリーの消耗が早い

バッテリーの性能が十分に発揮されていません。	●バッテリーの取り扱いを、「取り扱い上の注意」（p.192）でご確認ください。
常温（23 ℃）で使用しているときに消耗が早い場合は、バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（p.9）。

バッテリーが充電できない

バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（p.9）。

テレビ出力

テレビに出力できない / 画面が乱れる	
お使いの地域のビデオ出力方式に合っていません。	●正しいビデオ出力方式(NTSC または PAL)に合わせてください(p.52)。日本国内の出力方式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	●スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください(p.44)。

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない	
カメラとプリンターが正しく接続されていません。	●指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
プリンターの電源が入っていません。	●プリンターの電源を入れてください。
印刷接続方式が正しくありません。	●[ ]メニューの[印刷接続方式]で[自動]を選択してください(p.52)。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 ...

撮影した画像をカードに記録しています。または、再生モードを起動中です。

カードがありません

カードをカメラに入れずに、電源を入れました。または、カードが正しい向きに入っていません(p.9)。

ライトプロテクト

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト(書き込み禁止)されています(p.194)。

記録できません

カードがカメラに入っていない、または正しい向きに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

カードに異常がある可能性があります。異常のあるカードは、本製品で初期化するとお使いになれる場合があります(p.63)。ただし、本製品付属のカードをお使いになっても、このエラーメッセージが表示される場合には、カメラの故障が考えられますので、修理受付窓口にお問い合わせください。

カードがいっぱいです

カードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存はできません。また、これ以上、画像指定、サウンドレコーダーや音声メモの録音はできません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで[画像番号]を[オートリセット]に設定してください。または、必要な画像をパソコンに取り込んだ後、カードを初期化してください。なお、初期化すると、カード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

バッテリーの残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに充電されたバッテリーに交換するか、バッテリーを充電してください。また、バッテリーの取り扱いは「取り扱い上の注意」(p.192)でご確認ください。

画像がありません

カードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

5616 × 3744画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のないJPEG圧縮の画像(パソコンで編集した画像など)を再生しようとしました。

RAW

互換性のない RAW 画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

データが破壊されている画像、互換性がない画像(他社カメラ特有の記録タイプなど)、パソコンで編集した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、またはパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声のタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。また、音声の再生もできません。

登録できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画を起動画面に登録しようとしました。

処理できない画像です

動画またはこのカメラ以外で撮影した画像に、レタッチマイカラーで効果をつけたり、赤目補正やリサイズしようとしました。または、W で撮影した画像をリサイズしたり、XS にリサイズした画像を、再びリサイズしようとしました。

処理できません

このカメラ以外で撮影した画像をカテゴリー分けしようとしました。

処理できませんでした

赤目を検知しなかったため、赤目補正処理ができませんでした。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、データが破壊された画像や別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしました。または、[パソコンの背景]を選び、動画を指定しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を一部保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

指定できません

画像を範囲で指定するとき、始点に終点より遅い番号の画像、または終点に始点より早い番号の画像を指定しようとしました。または、500 画像以上を指定しようとしました。

通信エラー

カードに大量の画像(1000 画像程度)があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。USBカードリーダーやPCカードアダプターを使って画像を取り込んでください。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを起動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示されるときは、レンズの故障が考えられますので、修理受付窓口へお持ちください。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えて修理受付窓口へお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

付録

安全上のご注意

・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
・ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
・本機器：カメラ、バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプター（別売）
・バッテリー：バッテリーパック

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠警告

本機器

●カメラを太陽や強い光源に向けないでください。

撮像素子(CCD)が損傷する場合があります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・リストストラップ:誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・カード:誤って飲み込むと危険です。
万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず、バッテリーを外すか、バッテリーチャージャー、あるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災、感電の原因となります。

バッテリー

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外のバッテリーを使用しないでください。

バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●バッテリーを充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

⚠注意

本機器

●リストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

●レンズの先端を強く押したり、ぶつけたりしないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

●風通しの悪いところで使用しないでください。

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●使用しないときは、バッテリーを取り出し、保存してください。

カメラに、バッテリーを入れたままにしておくと、バッテリーが消耗します。

ストロボ

●発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。

●発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●連続発光後、発光部分に触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

●カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、 絶対に置かないでください。

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。

結露が発生したときは

●カメラを使用しないでください。

故障の原因になります。
カメラを使う場合は、カード、バッテリー、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

バッテリーの取り扱い

バッテリー残量の確認

●以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

表示	内容
(バッテリーアイコン)	バッテリーは十分にあります。
(バッテリーアイコン)	長時間お使いになる場合は、早めに充電してください。
(バッテリーアイコン)(赤点滅)	バッテリー残量が低下しています。充電をおすすめします。
バッテリーを交換してください	バッテリーの残量が少なく、動作不能です。ただちにバッテリーを充電してください。

取り扱い上の注意

●バッテリーの端子は、常にきれいにしておいてください。

汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください。

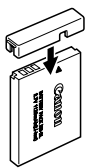
●低温下では、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコン( )が早めに表示されることがあります。

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

●ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。

バッテリーがショートするおそれがあります。

●キーホルダーなどの金属類でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触(ショート)させないでください(図A)。持ち運ぶときや、お使いにならないときは、必ず端子カバーを取り付けてください(図B)。

バッテリーパックの破損の原因となることがあります。
端子カバーの取り付けかたによって、バッテリーの充電状態を確認することができます(図C、D)。

●バッテリーを使い切ってから、湿度の低い室温(0 ～ 30 ℃)で保管してください。

フル充電の状態で長期間(1 年くらい)保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。また長期間使用しないときは、1 年に1 回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

充電する

●**このバッテリーはリチウムイオン充電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。**

●**バッテリーを使い切った状態からフル充電になるまでの時間は、約2時間5分です。（当社測定基準による）**

・5～40℃の範囲で充電することをおすすめします。

・充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。

●**使用する当日または前日に充電してください。**

充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。

●**規定の充電をしたにもかかわらず、著しく使用できる時間が低下するときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。**

Li-ion

・この製品には充電式のリチウムイオン電池を使用しています。

・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

・リチウムイオン電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ上で確認できます。

・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。

・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。

- 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
- 「有限責任中間法人 JBRC」および「キヤノン / キヤノンマーケティングジャパン」

有限責任中間法人 ＪＢＲＣ ホームページ

http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノンサポートページ

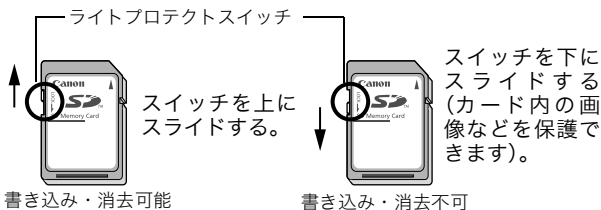
canon.jp/support

カードの取り扱い

SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのライトプロテクト(書き込み防止)スイッチについて

スイッチを下にスライドする(カード内の画像などを保護できます)。

書き込み・消去可能

書き込み・消去不可

取り扱い上のご注意

- **曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。**
- **分解したり、改造しないでください。**
- **端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。**
- **貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。**
- **文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。**
- **下記の場所で使用したり、保管しないでください。**
  - ・ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - ・高温多湿の場所
- **大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。**

  電気ノイズ、静電気、カメラやカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

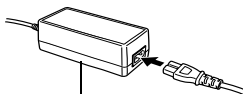
初期化

- **初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。**
- **このカメラで初期化したカードをお使いになることをおすすめします。**
  - ・付属のカードは、そのままお使いになれます。
  - ・カメラが正しく動作しないときは、カードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
  - ・キヤノン製以外のカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。
  - ・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。
- **正しく初期化されないときは、電源を切ってから、カードを入れ直し、再度初期化してください。**
- **カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。**

ACアダプターキット(別売)の使いかた

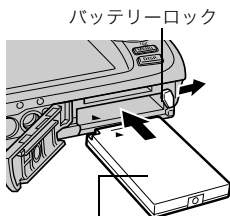
カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK-DC30(別売)のご利用をおすすめします。

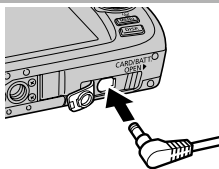
カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む

コンパクトパワーアダプター CA-DC10

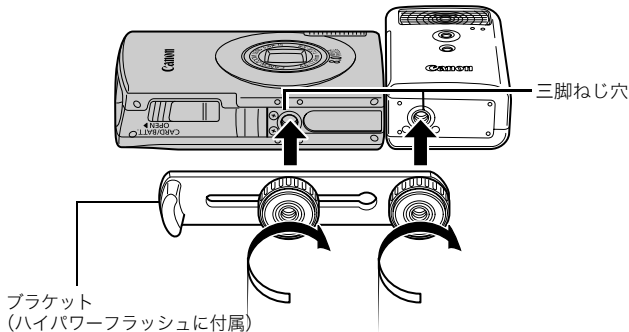
2 メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開き、バッテリーロックを矢印の方向に押しながら、DCカプラーがロックされるまで押し込む

・メモリーカードスロット / バッテリーカバーを元の位置に戻します

バッテリーロック

DC カプラー DR-30

3 DC カプラー端子カバーを開き、DC 端子を接続する

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボの光が届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池(CR123A または DL123)が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

電池について

●電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

●寒冷地でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池(CR123A または DL123)を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

●お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

海外で使うとき

電源について

海外でもお使いになれます。

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100 〜 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります(1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります)。
変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式(PAL 方式:主にヨーロッパ、オセアニア、アジア(一部地域を除く))に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください(p.52)。

世界時計を設定する(p.60)

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りの修理受付窓口（別紙でご確認ください）にご相談ください。

液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

IXY DIGITAL 910 IS

(W):ワイド端　(T):テレ端

カメラ部有効画素数	：約 800 万画素
撮像素子	：1/2.5 型 CCD（総画素数 約 830 万画素）
レンズ	：4.6（W）－ 17.3（T）mm (35mm フィルム換算 28（W）－ 105（T）mm) F2.8（W）－ F5.8（T）
デジタルズーム	：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 15 倍）
液晶モニター	：3.0 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約 23.0 万画素、視野率 100%
AF 方式	：TTL オートフォーカス 顔優先 /AiAF（9 点）/ 中央* ＊ AF フレームの大きさ選択可能
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：45cm ～∞ マクロ撮影：3 ～ 60cm（W）/30 ～ 60cm（T） 遠景撮影：3m ～∞ キッズ&ペット撮影：1m ～∞
シャッター	：メカニカルシャッター・電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/1600 秒 ・撮影モードによって異なる ・シャッタースピードが 1.3 秒以上のときは、ノイズリダクション処理あり
手ぶれ補正	：レンズシフト式 入 / 撮影時* / 流し撮り* / 切 ＊静止画のみ
測光方式	：評価* / 中央部重点平均 / スポット** ＊ 顔優先 AF のときは、顔の明るさを考慮 ＊＊ 測光枠は中央固定
露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）

(W):ワイド端　(T):テレ端

ISO 感度 (標準出力感度・推奨露光指数)	:オート＊、高感度オート＊、ISO 80/100/200/ 400 /800/1600 ＊オート、高感度オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	:オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H / マニュアル
内蔵ストロボ	:オート＊ / 常時発光＊ / 発光禁止 ＊赤目緩和、FE ロック、スローシンクロ設定可能
内蔵ストロボ調光範囲	:30cm 〜 4.0m(W)/30cm 〜 2.0m(T) (ISO 感度:オート)
撮影モード (静止画)	:オート / マニュアル* / デジタルマクロ / ワンポイントカラー/ スイッチカラー/ スティッチアシスト / スペシャルシーンモード** ＊ 長秒時撮影可能 ＊＊ ポートレート、ナイトスナップ、キッズ＆ペット、パーティー/ 室内、新緑 / 紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火、水族館、水中
(動画)	:スタンダード / ライト / ワンポイントカラー/ スイッチカラー/ インターバル
連続撮影	:約 1.3 画像 / 秒(ラージ・ファインモードのとき)
セルフタイマー	:約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
記録媒体	:SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード /MMCplus カード / HC MMCplus カード
ファイルフォーマット	:DCF 準拠*、DPOF 対応 ＊DCF は(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で、主としてDSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

データタイプ	：静止画：Exif 2.2（JPEG）＊ ：動画：AVI（画像データ：Motion JPEG、音声データ：WAVE（モノラル）） ：音声メモ、サウンドレコーダー：WAVE（モノラル） ＊このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数（静止画）	：ラージ　：3264 ×2448 画素 ：ミドル 1　：2592 ×1944 画素 ：ミドル 2　：2048 ×1536 画素 ：ミドル 3　：1600 ×1200 画素 ：スモール　：640 × 480 画素 ：L判プリント　：1600 ×1200 画素 ：ワイド　：3264 ×1832 画素
記録画素数（動画）	：スタンダード、ワンポイントカラー、スイッチカラー ：640 × 480 画素（30 フレーム / 秒、30 フレーム / 秒 LP） ：320 × 240 画素（30 フレーム / 秒） カードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊（1 回の最大記録容量：4GB ＊＊） ：ライト ：160 × 120 画素（15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：3 分 ：インターバル ：640 × 480 画素（1 フレーム / 秒（撮影間隔：1 秒）、0.5 フレーム / 秒（撮影間隔：2 秒）） （再生時　15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間：2 時間 ＊ 超高速のカード使用時（推奨カード：SDC-512MSH） ＊＊ 記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。カードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

音声	：量子化ビット：16 ビット サンプリングレート 音声メモ、動画（ライト）：11.025kHz 動画（ライト以外）：44.100kHz サウンドレコーダー：11.025kHz/22.050kHz/44.100kHz
再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル9画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/マイカテゴリー/ジャンプ（日付/マイカテゴリー/フォルダ / 動画 /10 枚 /100 枚。インデックス再生時は、9 画像ずつ再生）/ スライドショー/ 赤目補正 / レタッチマイカラー/ 音声メモ（最長 1 分まで記録 / 再生が可能）/ 動画再生（編集 / スロー再生可能）/ サウンドレコーダー（最長 2 時間まで記録 / 再生が可能）/ リサイズ
ダイレクトプリント方式	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B） 映像 / 音声出力端子（NTSC または PAL 切換可能、モノラル音声）
通信プロトコル設定	：MTP、PTP
電源	：バッテリーパック NB-5L（専用リチウムイオン充電池） ：AC アダプターキット ACK-DC30
動作温度	：0 ～ 40 ℃
動作湿度	：10 ～ 90%
大きさ（突起部を除く）	：92.6 × 58.8 × 25.9mm（最薄部 24.5mm）
質量（本体のみ）	：約 155g

バッテリー性能（バッテリーパック NB-5L（フル充電））

撮影画像数 液晶モニター表示時 （CIPA測定法準拠）	再生時間
約270画像	約6時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23±2℃）・常湿（50±20%）で、2回に1回ストロボを発光させながら、30秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。

・キヤノンブランドのカードを使用
＊バッテリーの温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23±2℃）・常湿（50±20%）の環境において、1画像あたり3秒間隔で連続再生。

バッテリーの取り扱いについて（p.191）

カードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）

□ ：付属のカード

記録画素数	圧縮率	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L（ラージ）3264 × 2448 画素	S	8	35	139
	F	14	59	231
	N	29	123	479
M1（ミドル 1）2592 × 1944 画素	S	11	49	190
	F	20	87	339
	N	41	173	671
M2（ミドル 2）2048 × 1536 画素	S	18	76	295
	F	32	136	529
	N	64	269	1041
M3（ミドル 3）1600 × 1200 画素	S	29	121	471
	F	52	217	839
	N	99	411	1590
S（スモール）640 × 480 画素	S	111	460	1777
	F	171	711	2747
	N	270	1118	4317
（L 判プリント）1600 × 1200 画素	F	52	217	839
W（ワイド）3264 × 1832 画素	S	11	47	183
	F	18	79	307
	N	39	166	642

■ :スムーズ連写(p.81)できます。(物理フォーマット時)
当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件により変わります。

■動画

：付属のカード

	記録画素数 / フレームレート		32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード	640	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒	14 秒	1 分 1 秒	3 分 57 秒
ワンポイントカラー	640 LP	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒 LP	27 秒	1 分 56 秒	7 分 30 秒
スイッチカラー	320	320 × 240 画素 30 フレーム / 秒	38 秒	2 分 42 秒	10 分 29 秒
ライト	160	160 × 120 画素 15 フレーム / 秒	3 分 9 秒	13 分 2 秒	50 分 21 秒
インターバル	1" *	640 × 480 画素	7 分 30 秒	31 分 45 秒	2 時間 3 分 30 秒
	2" **		15 分 00 秒	1 時間 3 分 30 秒	4 時間 7 分 00 秒

*1フレーム / 秒（撮影間隔：1 秒）　** 0.5 フレーム / 秒（撮影間隔：2 秒）

- 動画の 1 回の最長記録時間は、（ライト）：3 分、（インターバル）：2 時間です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。
- （インターバル）は 15 フレーム / 秒で再生されるため、記録可能時間と再生時間は異なります。

サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間（目安）

：付属のカード

	音声サイズ	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
11.025kHz	22KB/ 秒	23 分 28 秒	1 時間 36 分 59 秒	6 時間 14 分 16 秒
22.050kHz	44KB/ 秒	11 分 44 秒	48 分 30 秒	3 時間 7 分 8 秒
44.100kHz	88KB/ 秒	5 分 52 秒	24 分 15 秒	1 時間 33 分 34 秒

1 画像の容量（目安）

記録画素数	圧縮率		
	S	F	N
L 3264 × 2448 画素	3436KB	2060KB	980KB
M1 2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M2 2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
M3 1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S 640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
1600 × 1200 画素	ー	558KB	ー
W 3264 × 1832 画素	2601KB	1540KB	736KB

	記録画素数 / フレームレート		容量
スタンダード ワンポイントカラー スイッチカラー	640	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒	1963KB/ 秒
	640 LP	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒 LP	1003KB/ 秒
	320	320 × 240 画素 30 フレーム / 秒	703KB/ 秒
ライト	L160	160 × 120 画素 15 フレーム / 秒	131KB/ 秒
インターバル	1" *	640 × 480 画素	64KB/ 秒
	2" **		32KB/ 秒

＊1フレーム / 秒（撮影間隔：1 秒）　＊＊ 0.5 フレーム / 秒（撮影間隔：2 秒）

SD メモリーカード

インターフェース	：SDメモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	：32.0×24.0×2.1mm
質量	：約2g

マルチメディアカード

インターフェース	：マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	：32.0×24.0×1.4mm
質量	：約1.5g

バッテリーパック NB-5L

形式	：リチウムイオン充電池
公称電圧	：DC 3.7V
公称容量	：1120mAh
充放電	：約300回
使用温度	：0〜40℃
大きさ	：32.0×44.9×7.9mm
質量	：約25g

バッテリーチャージャー CB-2LX

定格入力	：AC100〜240V（50/60Hz） 0.085A（100V）〜0.05A（240V）
定格出力	：DC 4.2V、0.7A
充電時間	：約2時間5分
使用温度	：0〜40℃
大きさ	：57.5×81.6×21.0mm
質量	：約65g

コンパクトパワーアダプター CA-DC10
（別売の AC アダプターキット ACK-DC30 に付属）

定格入力	：AC100〜240V（50/60Hz）
定格出力	：DC 4.3V、1.5A
使用温度	：0〜40℃
大きさ	：42.6×104.4×31.4mm
質量（電源コードを除く）	：約180g

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録(無料)されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

・バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス
・オンラインアルバムサービス
・携帯電話アルバム通知･閲覧サービス
・ホームプリンティングサービス
・プリント注文サービス(有料)
・オリジナル写真集(フォトブック)作成サービス(有料)
・マイカメラコンテンツのダウンロード

http://www.imagegateway.net

・最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
・会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

* インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
* プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

記号 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

撮影状況に合わせて各種設定を行い、 撮影してください。
撮影モードによって設定が異なる機能のみ記載しています。

機能 ＼ 撮影モード		M	長秒時撮影	D	A S		
露出補正(p.100)		○	−	○	−	○	−
長秒時設定(p.101)		−	○	−	−	−	−
ISO 感度(p.97)	オート	○	−	○	○	○	○
	高感度オート	○	−	○	−	−	○
	ISO 80/100/200/400/800/1600	○	○	○	−	−	−
ホワイトバランス(p.102)	オート	○	○	○	○	○	○
	太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H/ マニュアル	○	○	○	−	○	−
ドライブモード(p.70、p.81)	1 画像撮影	○	○	○	○	○	○
	連続撮影	○	○	○	−	−	−
	セルフタイマー(2 秒 /10 秒)	○	○	○	○	○	○
	セルフタイマー(カスタム)	○	○	○	−	−	○
マイカラー(p.105)		○	○	○	−	○	−
測光方式(p.100)	評価	○	○	○	○	○	○
	中央部重点平均	○	−	○	−	−	−
	スポット	○	−	○	−	−	−
記録画素数(静止画)(p.72)		○	○	○[1)]	○	○[1)]	○
圧縮率選択(静止画)(p.73)		○	○	○	○	○	○
記録画素数・フレームレート選択(動画)(p.87)	640 × 480・30fps	−	−	−	−	−	−
	640 × 480・30fps LP	−	−	−	−	−	−
	320 × 240・30fps	−	−	−	−	−	−
	160 × 120・15fps	−	−	−	−	−	−
AE/FE ロック(p.95、p.96)		○	−	○	−	−	−
AE ロック・露出シフト(p.95)		−	−	−	−	−	−
AF ロック(p.94)		○	○	○	−	−	−
撮影領域(p.69)	通常	○	○	−	○	○	○
	マクロ	○	○	○	○	○	○
	遠景	○	○	−	○	○	−
ストロボ(p.68)	オート	○	−	−	○	−	○
	常時発光	○	○	−	○	○	−
	発光禁止	○	○	○	○	○	○

SCN														
														参照ページ
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	p.100
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p.101
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.97
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.102
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.70、p.81
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－	p.105
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.100
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	p.72
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	p.73
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	○[2)]	○	p.87
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	○	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	○	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	p.95、p.96
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－	p.95
－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	－	p.94
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.69
○	○	－	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	
○	○	－	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	－	－	○	－	－	－	－	p.68
○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	－	－	－	－	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	

機能 ＼ 撮影モード							
		CM	長秒時撮影				
液晶モニターの表示状態(p.53)	情報表示なし	○	○	○	−	−	○
	情報表示あり	○	○	○	○	○	○
AF フレーム(p.91)	顔優先	○	○	○	○	−	○
	AiAF（9 点）	○	○	○	○	−	○
	中央	○	○	○	○	○	○
AF フレームサイズ(p.93)		○	○	−	−	−	−
デジタルズーム(p.65)	入	○	○	○[3)]	−	−	○
	デジタルテレコン	○	○	−	−	−	○
スローシンクロ(p.83)		○	○[3)]	−	−	○	−
赤目緩和機能(p.82)		○	○	−	○	○	○
セルフタイマー(カスタム設定)(p.71)		○	○	○	−	−	○
ISO ブースター(p.98)	自動 / ボタン	○	−	○	−	−	○
	切	○	○	○	○	○	○
AF 補助光(p.49)		○	○	○	○	○	○
撮影の確認(p.49)		○	○	○	○	○	○
レビュー情報(p.53)	非表示	○	○	○	○	−	○
	詳細表示 / ピント確認	○	○	○	○	−	○
オリジナル保存(p.111)		−	−	−	○	−	−
自動カテゴリー(p.112)		○	○	○	○	○	○
撮影ガイド(p.115)	グリッドライン	○	○	○	○	−	○
	3:2 ガイド / 両方	○	○	○	○	−	○
手ぶれ補正(p.76)	入	○	○	○	○	○	○
	撮影時 / 流し撮り	○	○	○	○	○	○
日付写し込み(p.75)		○	○	−	○	−	○
ボタン機能登録（p.113）		○	○	○	○	○	○

○ :選択可、またはカメラが自動的に設定。ただし、ステッチアシストでは原則として1 枚目のみ選択可

― :選択不可

:電源を切っても解除されません。

1) L 判プリント、ワイドは不可
2) フレームレートは、撮影時:1fps(撮影間隔 1 秒)/0.5fps(撮影間隔 2 秒)、再生時:15fps
3) 常時[入]
4) ストロボ常時発光時に選択可

SCN										🎥				
														参照ページ
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	p.53
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	ー	ー	ー	ー	p.91
○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	
ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	p.93
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	p.65
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	
ー	○[3)]	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	p.83
○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	ー	ー	ー	ー	p.82
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	p.71
ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	p.98
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	ー	○[4)]	○	○	○	○	○	p.49
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	p.49
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	p.53
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	
ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	p.111
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.112
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.115
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.76
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	p.75
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p.113